

少年審判通訳ハンドブック

【タイ語】

(改訂版)

最高裁判所事務総局

はじめに

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われます。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われます。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていると役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

目 次

第1編	少年審判の概要	
第1	少年審判の意義と基本原理	1
1	少年審判の意義	1
2	少年審判の基本原則	1
(1)	教育主義（保護主義）	1
(2)	個別処遇の原則（処遇の個別化）	2
(3)	職権主義	3
第2	少年審判手続の流れ	3
1	事件の受理	3
(1)	対象事件	3
ア	少年保護事件	3
(ア)	犯罪少年	3
(イ)	触法少年	3
(ウ)	ぐ犯少年	3
イ	強制的措置許可申請事件	4
ウ	準少年保護事件	4
(2)	事件受理の態様	4
2	観護措置	4
(1)	意義	4
(2)	手続	5
ア	通訳人の氏名などの確認及び宣誓	5
イ	家庭裁判所調査官による面接	5
ウ	裁判官による観護措置決定手続	5
(ア)	少年の氏名などの確認	5
(イ)	黙秘権及び付添人選任権の告知	6

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取	6
(エ) 決定の告知	6
(オ) ウィーン条約の説明	6
(3) 期間など	6
3 調査	7
(1) 裁判官による法的調査	7
(2) 家庭裁判所調査官による社会調査	7
4 審判	8
(1) 審判の開始	8
(2) 審判の場所，関与者など	8
(3) 手続	9
ア 審判開始の宣言	9
イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓	9
ウ 少年の氏名などの確認	9
エ 黙秘権の告知	9
オ 非行事実の審理	9
カ 要保護性の審理	10
キ 決定の告知	10
(ア) 保護処分	10
a 保護観察	10
b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致	10
c 少年院送致	11
(イ) 不処分	11
(ウ) 知事又は児童相談所長送致	11
(エ) 検察官送致	11
(オ) 試験観察	12

	(カ) 没取	12
	(キ) 訴訟費用の負担	13
	ク 保護処分の趣旨の説明	13
	ケ 抗告権の告知	13
	コ ウィーン条約の説明	13
5	検察官及び弁護士である付添人が関与した審理	13
6	被害者等の傍聴	14
第2編	通訳に当たっての注意事項	15
第1	一般的注意事項	15
第2	具体的注意事項	17
1	観護措置決定手続段階	17
2	調査段階	17
3	審判段階	18
第3編	定型文言の対訳	20
第1	観護措置決定手続	20
1	家庭裁判所調査官による面接	20
2	前置き	20
3	少年の氏名などの確認	22
4	黙秘権の告知	22
5	付添人選任権の告知	22
6	非行事実の告知	22
7	少年の弁解の聴取	24
8	観護措置をとらない場合	24
9	観護措置をとる場合（決定の告知等）	24
10	少年鑑別所収容の通知の説明	24
11	ウィーン条約の説明	24

第2	調査手続	26
1	前置き	26
2	少年の氏名などの確認	26
3	手続の説明	26
4	審判の説明	28
5	処分の説明	28
第3	審判手続	30
1	審判開始の宣言	30
2	少年の氏名などの確認	30
3	黙秘権の告知	30
4	被害者等の傍聴がある場合の説明	32
5	非行事実の告知	32
6	少年の弁解の聴取	32
7	証人尋問手続	32
8	聴取の終了	34
9	調査官の意見陳述	34
10	付添人の意見陳述	34
11	決定などの告知及びその説明	34
12	抗告権の告知（保護処分に付された場合）	34
13	ウィーン条約の説明 （少年院送致や少年院への戻し収容の場合）	34
第4	非行事実の告知	36
1	窃盗罪（万引）の例	36
2	窃盗罪（バイク盗）の例	36
3	遺失物等横領罪の例	36
4	傷害罪の例	36

5	強盗罪の例	38
6	殺人罪の例（その1）	38
7	殺人罪の例（その2）	38
8	覚せい剤取締法違反の例	38
9	毒物及び劇物取締法違反の例	40
10	過失運転致傷罪の例	40
11	道路交通法違反（無免許運転）の例	40
12	道路交通法違反（速度違反）の例	40
13	売春防止法違反の例	40
14	出入国管理及び難民認定法違反の例	42
15	ぐ犯の例	42
第5	決定などの告知及びその説明	42
1	保護観察決定などの告知及びその説明	42
	(1) 保護観察決定の告知及びその説明	42
	(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明	44
2	児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明	44
3	少年院送致決定などの告知及びその説明	44
	(1) 少年院送致決定の告知及びその説明	44
	(2) 処遇勧告の告知及びその説明	44
	ア 短期間の処遇勧告の説明	44
	イ 特別短期間の処遇勧告の説明	44
4	不処分決定の告知	44
5	知事又は児童相談所長への送致決定の告知	46
6	検察官送致決定の告知	46
7	強制的措置許可決定の告知	46

8	強制的措置不許可決定の告知	46
9	試験観察決定などの告知及びその説明	46
10	没取決定の告知	46
11	訴訟費用負担決定の告知	46
12	戻し収容決定の告知	48
13	収容継続決定の告知	48
14	保護処分 of 取消決定の告知	48
15	施設送致決定の告知	48
第6	書式例	50
書式1	少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）	50
書式2	少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）	52
書式3	審判期日通知書	54
書式4	呼出状	56
書式5	呼出状（調査）	58
書式6	同行状（緊急）	60
書式7	観護措置通知書	62
書式8	付添人選任届	64
書式9	付添人選任に関する通知及び照会	66
書式10	付添人選任に関する回答書	68
書式11	決定通知書（審判不開始決定）	70
書式12	証人召喚状	72
書式13	証人等整理票	74
書式14	宣誓書	76
書式15	通報の要請に関する照会	78
第4編	用語の対訳	80
第1	法律関係用語	80

第2	調査関係用語	93
第3	官庁等諸機関名	96
第4	法令名	100
第5	罪名	105
	少年保護事件の手続の流れ	109

第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理

1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。）、家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判廷で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

2 少年審判の基本原則

(1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適當な場合に限って科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考えと、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることが期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義）、家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

(2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっています。

(3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられていますが、少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場に関与するものとされています。

第2 少年審判手続の流れ

1 事件の受理

(1) 対象事件

ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分に付すかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

(ア) 犯罪少年

1 4歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

(イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

(ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかがわしい場所に入出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

(2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察(司法警察員)からの送致(法41条)、検察官からの送致(法42条)のほか、知事又は児童相談所長からの送致(児童福祉法27条1項4号、法3条2項)。家庭裁判所調査官からの報告(法7条1項)、一般人からの通告(法6条1項)があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます(法6条の7第2項、児童福祉法27条の3)。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています（刑事訴訟法247条）が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に関心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

2 観護措置

(1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が随時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

(2) 手続

ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

ウ 裁判官による観護措置決定手続

(ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し、無理に答える必要はありません。また、少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに、刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが、少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は、少年に対し、観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ、観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は、原則として2週間ですが、特に継続の必要があるときは、更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが、例外的に、更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

3 調査

(1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

(2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査）、非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や

非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくるとや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名誉を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

4 審判

(1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

(2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項）、少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

(3) 手続

ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聴き、その上で捜査機関から送られてきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならないとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確認し、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

(ア) 保護処分

a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るものです（法24条1項1号）。

b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送って教育や養護を行うものです（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるように指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適当であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 検察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

(オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、(ア)から(エ)までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

(カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ） 訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法 22 条の 2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法 22 条の 3 第 1 項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができることとされています（法 22 条の 3 第 2 項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができます。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法 22 条の 4）。

第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんは、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくこととなります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

第1 一般的注意事項

1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。

もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知れると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることもあるかと思われまます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれが多分にあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることがありますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からないことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

第2 具体的注意事項

1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に收容するか否かを決める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手続段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

2 調査段階

- (1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

- (2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言をできるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い直しますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からない言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からない言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めると、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。

審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあり

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からない言葉があるなど通訳がやりにくいと感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を付けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めると、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

第3編 定型文言の対訳

〔一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。〕

第1 観護措置決定手続

1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

〔ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。〕

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聴かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

บทที่ 1 ขั้นตอนในการพิพากษามาตรการควบคุมดูแล

1 กรณีการสัมภาษณ์โดยเจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัว

[นอกจากข้อความที่ระบุไว้ ณ ที่นี้ กรุณาถูรายละเอียดถัดจากบทที่ 2 ด้านล่างนี้ประกอบด้วย]

ผม, ดิฉันชื่อ _____ เป็นเจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาล

ครอบครัว

ก่อนอื่นผม, ดิฉันจะขอถามเกี่ยวกับการกระทำผิดครั้งนี้ตลอดจนสภาพความเป็นอยู่ในปัจจุบันนี้ จากนั้นก็จะเป็นการสัมภาษณ์โดยผู้พิพากษา

ในการสัมภาษณ์โดยผู้พิพากษา จะสอบถามชื่อนามสกุล วันเดือนปีเกิด อาชีพ สัญชาติ ที่อยู่ในประเทศญี่ปุ่นของคุณ ฯลฯ อีกครั้ง

ในการสัมภาษณ์โดยผู้พิพากษา จะแจ้งรายละเอียดของการกระทำผิดที่ถือว่าคุณได้กระทำลงไปให้ฟัง และจะให้โอกาสคุณแก้ความผิด

หากมีจุดใดที่ไม่ตรงกับความเป็นจริงหรือประเด็นใดที่คุณยอมรับไม่ได้ก็ขอให้แย้งได้ในโอกาสนี้ ผู้พิพากษาจะคำนึงถึงรายละเอียดของการกระทำผิดในครั้งนี้และสภาพความเป็นอยู่ต่าง ๆ ในปัจจุบันของคุณ แล้วจะตัดสินว่าจำเป็นหรือไม่ในการที่จะสั่งกักกันตัวคุณไว้ในสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์เพื่อทำการตรวจสอบจุดที่เป็นปัญหาของคุณ

2 อารัมภบท

ผม, ดิฉันชื่อ _____ เป็นผู้พิพากษา

มีคดี _____ ที่เกี่ยวข้องกับตัวคุณถูกส่งเรื่องเข้ามา

จากนี้ไปศาลจะทำการตรวจสอบว่าคุณได้กระทำความผิดจริงหรือไม่ แล้วจะกำหนดบทลงโทษในท้ายที่สุด แต่สำหรับวันนี้ศาลจะตัดสินว่าจำเป็นหรือไม่ที่จะส่งตัวคุณไปยังสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์เพื่อตรวจสอบปัญหาต่าง ๆ ของคุณ

いくこととなりますが、今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これからの手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からないときは、何でも遠慮なく聞いてください。

3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

ขั้นตอนต่าง ๆ ดังต่อไปนี้จะให้ล่ามซึ่งแต่งตั้งโดยศาลเป็นผู้แปล ซึ่งผู้เป็นล่ามได้ให้คำปฏิญาณตนแล้วว่า จะทำหน้าที่เป็นล่ามแปลด้วยความซื่อสัตย์และสุจริตใจ

เวลาที่คุณฟังคำพูดของผม, ดิฉันแล้วไม่เข้าใจ ขอให้ถามได้โดยไม่ต้องเกรงใจ

3 การตั้งคำถามผู้เยาว์เพื่อยืนยันตัวตนบุคคล

คุณชื่ออะไร

วันเดือนปีเกิดเมื่อไร

ถือสัญชาติอะไร

อาศัยอยู่ที่ไหนในประเทศญี่ปุ่น

เวลานี้ทำงานอาชีพอะไร

4 การแจ้งสิทธิที่จะเงียบไม่ให้การใด ๆ

จากนี้ไปผม, ดิฉันจะถามคำถามต่าง ๆ ต่อคุณ ซึ่งไม่จำเป็นที่คุณจะต้องฝืนใจตอบแต่ประการใด การเงียบไม่ตอบคำถามจะไม่ทำให้คุณเสียผลประโยชน์ใด ๆ ทั้งสิ้น

แต่ถ้าหากคุณอยากพูดอะไร ก็สามารถพูดได้โดยไม่ต้องเกรงใจ

แต่คำให้การของคุณ ไม่ว่าจะเป็นการให้ประโยชน์หรือเสียประโยชน์แก่ตนเองก็ตาม อาจจะถูกนำไปใช้เป็นหลักฐานในการพิจารณาคดีได้

5 การแจ้งสิทธิในการเลือกผู้ติดตาม

คุณ หรือ ผู้ปกครองของคุณ เช่น คุณพ่อ คุณแม่ มีสิทธิขอร้องให้มีผู้ติดตามตัวคุณในการพิจารณาคดีครั้งนี้ได้

ผู้ติดตาม หมายถึงผู้ที่ให้ความร่วมมือต่อการพิจารณาคดีต่อศาล และเป็นผู้รักษาสิทธิผลประโยชน์ของคุณ หรือให้คำปรึกษาแก่คุณ

ในกรณีที่บุคคลที่จะขอให้เป็นผู้ติดตามไม่ได้เป็นทนายความ จะต้องได้รับอนุมัติจากศาลครอบครัวก่อน

6 การแจ้งให้ทราบข้อเท็จจริงที่กระทำผิด

ต่อไปนี้จะอ่านคำฟ้องที่ทางพนักงานอัยการ (ตำรวจ) ส่งมาให้ฟัง ขอให้ตั้งใจฟังเอาไว้ให้ดี

[第4 (非行事実の告知) 参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わったわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合 (決定の告知等)

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うこととなります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

[ดูบทที่ 4 (การแจ้งให้ทราบข้อเท็จจริงที่กระทำผิด) ประกอบ]

7 การรับฟังคำแก้ความของผู้เยาว์

คำฟ้องที่อ่านให้ฟังแล้วนี้ หากมีประเด็นใดที่ไม่เป็นความจริงหรือมีเรื่องที่ไม่เข้าใจ ขอให้พูดได้โดยไม่ต้องเกรงใจ

8 ในกรณีไม่ใช้มาตรการควบคุมดูแล

ศาลพิพากษาคัดสินไม่ให้ส่งตัวคุณไปยังสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์

วันนี้ให้คุณกลับบ้านได้

แต่ไม่ได้หมายความว่าขั้นตอนต่าง ๆ ในศาลจะจบสิ้นเพียงเท่านี้

ในภายหลัง ศาลจะเรียกตัวคุณมาตรวจสอบและดำเนินการพิจารณาคดีอีก ฉะนั้นเมื่อถึงกำหนดเวลา กรุณามาขึ้นศาลด้วย

9 กรณีที่ใช้มาตรการควบคุมดูแล (การแจ้งคำพิพากษา ฯลฯ)

ศาลพิพากษาคัดสินให้ส่งตัวคุณไปยังสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์

ระยะเวลาที่จะถูกกักกันตัวนั้นโดยปกติแล้วจะนานที่สุด 4 สัปดาห์ แต่ในบางกรณีอาจมีการขอยืดเวลาออกไปได้นานสูงสุดถึง 8 สัปดาห์

ในระหว่างนั้น เจ้าหน้าที่ผู้มีความชำนาญโดยเฉพาะหรือเจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัวจะดำเนินการทดสอบทางจิตใจเพื่อให้ทราบว่า คุณมีปัญหาทางด้านอุปนิสัยหรือทางด้านสภาพแวดล้อมหรือไม่ ถ้ามีสิ่งนั้นคืออะไร กรุณาให้ความร่วมมือกับเจ้าหน้าที่ในการตรวจสอบนี้อย่างเต็มที่

และขอให้เรียบเรียงความคิดเพื่อให้สามารถอธิบายต่อศาลในการพิจารณาคดีได้ว่า คุณมีปัญหาในตัวของคุณเองหรือปัญหาในการใช้ชีวิตอย่างไรบ้าง และจะแก้ไขปัญหานั้นได้อย่างไร

10 คำอธิบายเกี่ยวกับการแจ้งให้ทราบถึงเรื่องกักกันตัวในสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์

เรื่องที่คุณถูกกักกันตัวในสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์นั้น ทางศาลจะแจ้งให้คุณพ่อ คุณแม่ หรือผู้ปกครองของคุณทราบ

คุณต้องการให้ศาลแจ้งไปยังใคร

ขอให้แจ้งชื่อนามสกุลและที่อยู่ของคุณคนนั้นมา รวมทั้งบอกความเกี่ยวข้องของคุณด้วย

11 คำอธิบายเกี่ยวกับสนธิสัญญากรุงเวียนนา

[ยกเว้นกรณีที่แจ้งว่าจะดำเนินการตามสนธิสัญญาทวิภาคีระหว่างสองประเทศ]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第2 調査手続

1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

ถ้าคุณต้องการ ศาลจะรายงานไปยังสถานทูตประเทศของคุณที่อยู่ในประเทศญี่ปุ่นให้ ตามกฎหมาย สนธิสัญญากรุงเวียนนาว่าด้วยความสัมพันธ์ทางกงสุล

แต่ศาลจะรายงานไปให้ก็ต่อเมื่อทางตำรวจหรือพนักงานอัยการยังไม่ได้รายงานไปเท่านั้น
คุณต้องการให้ศาลรายงานไปหรือไม่

อนึ่ง คุณมีสิทธิส่งจดหมายไปยังสถานทูตประเทศของคุณในที่อยู่ประเทศญี่ปุ่นได้ราบใดที่ไม่เป็น การละเมิดกฎหมายของประเทศญี่ปุ่น

บทที่ 2 ขั้นตอนการตรวจสอบ

1 อารัมภบท

ผม, ดิฉัน ชื่อ _____ เป็นเจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัว ทางพนักงานอัยการ (ตำรวจ) ได้ส่งคำฟ้องของคุณ _____ ของคุณมายัง ศาลครอบครัว

ในวันนี้อยากจะขอฟังรายละเอียดต่าง ๆ เกี่ยวกับคดี ชีวิตความเป็นมาของคุณจนถึงปัจจุบันและ เรื่องราวในครอบครัวของคุณ

ในวันนี้จะให้ล่ามซึ่งแต่งตั้งโดยศาลเป็นผู้แปล ซึ่งผู้เป็นล่ามได้ให้คำปฏิญาณตนแล้วว่าจะทำหน้าที่ เป็นล่ามแปลด้วยความซื่อสัตย์และสุจริตใจ

หากมีคำถามใดที่ฟังไม่เข้าใจ ขอให้ถามได้โดยไม่ต้องเกรงใจ

2 การตั้งคำถามผู้เยาว์เพื่อยืนยันตัวบุคคล

คุณชื่ออะไร

วันเดือนปีเกิดเมื่อไร

ถือสัญชาติอะไร

อาศัยอยู่ที่ไหนในประเทศญี่ปุ่น

เวลานี้ทำงานอาชีพอะไร

3 คำอธิบายเกี่ยวกับขั้นตอนการดำเนินการพิจารณา

ศาลครอบครัวจะทำการตรวจสอบให้แน่ชัดว่าคุณมีการกระทำผิดจริงหรือไม่

ซึ่งหากคุณมีการกระทำผิดจริง ศาลจะพิจารณาว่าเหตุใดคุณจึงได้กระทำเรื่องนี้นี้ขึ้น และจะทำ อย่างไรจึงจะไม่ให้คุณกระทำความผิดซ้ำขึ้นมาอีก จากนั้นจะพิพากษาลงโทษที่เหมาะสมที่สุดต่อคุณ โดยคำนึงถึงการให้คำแนะนำและการฝึกอบรมที่จำเป็นต่อคุณ

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

ในวันนี้ อยากจะร่วมกันคิดกับคุณว่าอะไรที่เป็นสาเหตุทำให้คุณก่อคดีนี้ขึ้นมา
รายละเอียดต่างๆ ที่ฟังจากคุณ จะรายงานต่อไปยังผู้พิพากษา
ผู้พิพากษาจะนำคำให้การของคุณมาร่วมพิจารณาประกอบการที่ตัดสินบทลงโทษคุณต่อไป

4 คำอธิบายเกี่ยวกับการพิจารณาคดี

การพิจารณาคดีถือเป็นการขึ้นศาลประเภทหนึ่ง

การพิจารณาคดี โดยกฎหมายพื้นฐานแล้วจะกระทำโดยไม่เปิดเผย (แต่สำหรับคดีนี้ศาลได้อนุญาตให้
ผู้เสียหายเข้าร่วมรับฟังการพิจารณาคดี [เนื่องจากมีคำร้องขอเข้าร่วมรับฟังการพิจารณาคดีจาก
ผู้เสียหาย ซึ่งหากศาลอนุญาต] ผู้เสียหายก็สามารถเข้าร่วมรับฟังการพิจารณาคดีได้ กรุณาเข้าใจว่าการ
ที่ศาลอนุญาตให้ผู้เสียหายเข้าร่วมรับฟังการพิจารณาคดีนั้นเนื่องจากศาลมีความเห็นอกเห็นใจต่อ
ผู้เสียหายที่ต้องการทราบรายละเอียดของสภาพการพิจารณาคดีโดยตรงจากการดูและฟังด้วยตนเอง)

ในห้องพิจารณาคดี นอกจากผู้พิพากษาแล้ว ยังประกอบด้วย เจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาล
ครอบครัว เลขาธิการศาล ตัวคุณ ผู้ปกครองของคุณ และผู้ติดตามของคุณ เป็นต้น

การพิจารณาคดี ผู้พิพากษาจะถามชื่อนามสกุล วันเดือนปีเกิด อาชีพ สัญชาติ ที่อยู่ในประเทศญี่ปุ่น
ของคุณเป็นการตรวจสอบความแน่ใจอีกครั้ง

การพิจารณาคดี ศาลจะแจ้งข้อหาการกระทำผิดของคุณครั้งนี้ให้ทราบ จากนั้นจะให้โอกาสคุณ
กล่าวแก้ความผิด

ก่อนที่จะถึงวันขึ้นศาล ขอให้คุณไตร่ตรองอย่างถี่ถ้วนถึงสาเหตุการกระทำผิดครั้งนี้ และการ
ดำเนินชีวิตในอนาคตของตนเอาไว้ด้วย (นอกจากนี้ ผู้เสียหายจะเข้าร่วมรับฟังการพิจารณาคดีด้วย
ขอให้คุณสงบสติอารมณ์ และพูดให้ได้ตามที่ตัวเองคิดเอาไว้)

และในเวลาที่พิจารณาคดี ศาลจะให้คุณพูดในสิ่งที่ได้ไตร่ตรองไว้โดยตรงไปตรงมา

นอกจากนี้ หากมีจุดใดที่ไม่ตรงกับความเป็นจริง หรือประเด็นใดที่คุณไม่สามารถยอมรับได้ ก็
สามารถพูดได้ในโอกาสนั้น

5 คำอธิบายเกี่ยวกับการลงโทษ

ในบทลงโทษของศาลครอบครัว มีการส่งตัวเข้าสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์, ส่งตัวเข้าสถานให้
ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้สามารถดำรงชีวิตด้วยตนเองได้ หรือส่งตัวเข้าสถานอุปการะดูแลผู้เยาว์

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致とって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとってもらおうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

第3 審判手続

1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 黙秘権の告知

และยังมีการลงโทษควบคุมความประพฤติโดยให้ออกไปอยู่ในสังคม และรับคำแนะนำจากพนักงานควบคุมความประพฤติหรือเจ้าหน้าที่ควบคุมความประพฤติ

รวมทั้งยังมีบทลงโทษโดยส่งคดีไปให้พนักงานอัยการเพื่อดำเนินการส่งฟ้องคดีต่อศาลอาญา ให้ต้องโทษปรับหรือจำคุก โดยให้รับผิดชอบเช่นเดียวกับผู้บรรลุนิติภาวะ

หรือหากศาลเห็นว่าคุณได้สำนึกผิดต่อสิ่งที่ตนได้กระทำลงไปอย่างเพียงพอ ต่อไปคงจะไม่กระทำความผิดซ้ำอีกซ้ำสอง ศาลก็อาจจะไม่ตัดสินลงโทษคุณ และคดีก็จะปิดลงเพียงเท่านี้

อีกทั้ง อาจจะจบขั้นตอนการดำเนินการในครั้งนี้อย่างที่ไม่มีการเปิดพิจารณาคดีแต่ประการใด

นอกจากนี้แล้ว ก็ยังมีบทลงโทษแบบกลาง เรียกว่าเป็นการสังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ ซึ่งเหล่านี้ก่อนหน้าที่ศาลจะพิพากษาตัดสินขั้นสุดท้าย ในช่วงระยะหนึ่งศาลอาจจะฝากตัวคุณไว้กับบุคคลที่ศาลเห็นสมควรเพื่อรับการอบรมแนะนำต่าง ๆ หรือไม่ก็ให้คุณกลับไปอยู่ที่บ้าน ใช้ชีวิตในสังคมตามปกติแต่อยู่ภายใต้การเฝ้าสังเกตพฤติกรรมและสภาพการดำรงชีวิต หลังจากครบกำหนดแล้วจะเปิดศาลอีกครั้งเพื่อตัดสินบทลงโทษขั้นสุดท้าย

อนึ่ง ถึงแม้ว่าทางศาลครอบครัวจะไม่มีบทลงโทษใด ๆ ต่อคุณก็ตาม แต่ทางกองตรวจคนเข้าเมืองอาจตัดสินออกคำสั่งให้คุณเดินทางออกนอกประเทศได้

บทที่ 3 ขั้นตอนการพิจารณาคดี

1 การประกาศเริ่มการพิจารณาคดี

จากนี้ไป จะเริ่มการพิจารณาคดีเพื่อกำหนดบทลงโทษต่อไป

ขั้นตอนต่าง ๆ ในวันนี้จะให้สามซึ่งแต่งตั้งโดยศาลเป็นผู้แปล ซึ่งผู้เป็นสามได้ให้คำปฏิญาณตนแล้วว่า จะทำหน้าที่เป็นสามแปลด้วยความซื่อสัตย์และสุจริตใจ

หากมีคำถามใดที่คุณฟังแล้วไม่เข้าใจ ขอให้ถามได้โดยไม่ต้องเกรงใจ

2 การตั้งคำถามผู้เยาว์เพื่อยืนยันตัวบุคคล

คุณชื่ออะไร

วันเดือนปีเกิดเมื่อไร

ถือสัญชาติอะไร

อาศัยอยู่ที่ไหนในประเทศญี่ปุ่น

เวลานี้ทำงานอาชีพอะไร

3 การแจ้งสิทธิที่จะเงียบไม่ให้การใด ๆ

これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。

証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

จากนี้ไปศาลจะถามคำถามต่าง ๆ ต่อคุณ ซึ่งไม่จำเป็นที่คุณจะต้องฟังใจตอบแต่ประการใด การเงิบไม่ตอบคำถามจะไม่ทำให้คุณเสียผลประโยชน์ใด ๆ ทั้งสิ้น

แต่ถ้าหากคุณอยากพูดอะไร ก็สามารถพูดได้โดยไม่ต้องเกรงใจ

แต่คำให้การของคุณ ไม่ว่าจะเป็นการให้ประโยชน์หรือเสียประโยชน์แก่ตนเองก็ตาม อาจจะถูกนำไปใช้เป็นหลักฐานในการพิจารณาคดีได้

4 การอธิบายในกรณีที่คุณเสียหายเข้าร่วมรับฟังการพิจารณาคดี

สำหรับคดีนี้ศาลได้อนุญาตให้ผู้เสียหายเข้าร่วมรับฟังการพิจารณาคดี การที่ศาลอนุญาตให้ผู้เสียหายเข้าร่วมรับฟังการพิจารณาคดีนั้นเนื่องจากศาลมีความเห็นอกเห็นใจต่อผู้เสียหายที่ต้องการทราบรายละเอียดของสภาพการพิจารณาคดีโดยตรงจากการดูและฟังด้วยตนเอง แม้ว่าผู้เสียหายจะเข้าร่วมกับฟังการพิจารณาคดีด้วยก็ตาม ขอให้คุณสงบสติอารมณ์ และพูดให้ได้ตามที่ตัวเองคิดเอาไว้

5 การแจ้งให้ทราบข้อเท็จจริงที่กระทำผิด

ต่อไปนี้จะอ่านคำฟ้องที่ทางพนักงานอัยการ (ตำรวจ) ส่งมาให้ฟัง ขอให้ตั้งใจฟังเอาไว้ให้ดี

[ดูบทที่ 4 (การแจ้งให้ทราบข้อเท็จจริงที่กระทำผิด) ประกอบ]

6 การรับฟังคำแก้ความของผู้เยาว์

คำฟ้องที่อ่านให้ฟังแล้วนี้ หากมีประเด็นใดที่ไม่เป็นความจริงหรือมีสิ่งใดที่ไม่เข้าใจ ขอให้พูดได้โดยไม่ต้องเกรงใจ

7 ขั้นตอนการไต่สวนพยาน

จากนี้ไป จะขอถามคุณในฐานะที่เป็นพยานของคดีนี้

ก่อนอื่น ขอให้คุณกล่าวคำปฏิญาณตนว่าจะไม่ให้การเท็จใด ๆ กรุณาอ่านออกเสียงข้อความในหนังสือปฏิญาณตน

(พยาน) "ข้าพเจ้าขอสาบานว่าจะให้การตามความสัตย์จริงด้วยความซื่อสัตย์และสุจริตใจ จะไม่ปิดบังในสิ่งที่ตนเองรู้ จะไม่พูดในสิ่งที่ตนเองไม่รู้อย่างเด็ดขาด

พยาน _____"

ถ้าเช่นนั้น กรุณาลงลายมือชื่อในหนังสือปฏิญาณตนนี้

ขอให้พยานให้การแต่ตามความสัตย์จริง เช่นคำสาบานที่ได้อ่านมาเมื่อสักครู่นี้ด้วย

宣誓の上でその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

〔証人尋問の実施〕

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

8 聴取の終了

これで話を聴くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

〔第5（決定などの告知及びその説明）参照〕

12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、〇〇高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

หากให้การเท็จทั้งที่กล่าวคำปฏิญาณตนไปแล้ว พยานอาจถูกลงโทษฐานเบิกความเท็จได้
หากว่าคำให้การจะมีผลทำให้ตัวพยานเองหรือญาติของพยานถูกฟ้องในคดีอาญา หรืออาจจะมีผล
ทำให้ถูกพิพากษาว่ามีความผิดแล้ว พยานมีสิทธิปฏิเสธที่จะไม่ให้การก็ได้
หากมีกรณีเช่นนั้น ขอให้แจ้งให้ศาลทราบด้วย
[ดำเนินการไต่สวนพยาน]
จบการไต่สวนพยานแต่เพียงเท่านี้
ขอขอบคุณ ที่มาให้การเป็นพยานในครั้งนี้

8 การสิ้นสุดการรับฟังคำให้การ

ศาลขอยุติการรับฟังคำให้การแต่เพียงเท่านี้ และจะพิพากษาบทลงโทษต่อคุณ หากคุณมีอะไรที่
ต้องการพูดทิ้งท้าย ขอเชิญพูดได้

9 คำให้การความคิดเห็นของพนักงานตรวจสอบ

เป็นไปตามรายละเอียดที่ระบุในช่องแสดงความคิดเห็นในใบตรวจสอบผู้เยาว์ที่ได้ยื่นไปแล้ว ไม่มี
อะไรเพิ่มเติมเป็นพิเศษ

10 คำให้การความคิดเห็นของผู้ติดตาม

เป็นไปตามที่ระบุไว้ในหนังสือแสดงความคิดเห็น ไม่มีอะไรเพิ่มเติมเป็นพิเศษ

11 การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายเกี่ยวกับการตัดสินใจและเรื่องอื่น ๆ

ศาลขอแจ้งให้ทราบถึงการลงโทษคุณ

[ดูบทที่ 5 (การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายของการพิพากษาคัดสินและเรื่องอื่น ๆ) ประกอบ]

12 การแจ้งให้ทราบถึงสิทธิยื่นอุทธรณ์ (ในกรณีถูกตัดสินให้ถูกลงโทษควบคุมความประพฤติ)

หากไม่พอใจต่อคำตัดสินของศาล คุณหรือตัวแทนตามกฎหมายของคุณ ตลอดจนผู้ติดตามมีสิทธิที่
จะยื่นอุทธรณ์ได้

ในกรณีที่ต้องการยื่นอุทธรณ์ ให้ยื่นคำร้องอุทธรณ์ต่อศาลอุทธรณ์ _____ โดยยื่นต่อ
ศาลนี้ได้ภายใน 2 สัปดาห์

การยื่นคำร้องอุทธรณ์สามารถยื่นผ่านผู้อำนวยการสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ หรือผู้รักษาการ
แทนได้

13 คำอธิบายเกี่ยวกับสนธิสัญญากรุงเวียนนา (ในกรณีส่งเข้าสถานที่อบรมความประพฤติผู้เยาว์ หรือ ส่งกลับสถานที่อบรมความประพฤติผู้เยาว์)

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第4 非行事実の告知

1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成○年5月10日午後1時23分頃、東京都○○区○○町1丁目5番12号所在の株式会社○○店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成○年7月21日午後9時30分頃、東京都○○区○○町5丁目3番4号所在の○○自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

4 傷害罪の例

「君は、平成○年1月15日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

[ยกเว้นกรณีที่แจ้งว่าจะดำเนินการตามสนธิสัญญาทวิภาคีระหว่างสองประเทศ]

ถ้าคุณต้องการ ศาลจะรายงานไปยังสถานทูตประเทศของคุณที่อยู่ในประเทศญี่ปุ่นให้ ตามกฎหมาย สนธิสัญญากรุงเวียนนาว่าด้วยความสัมพันธ์ทางกงสุล

แต่ศาลจะรายงานไปให้ในกรณีที่ยังไม่ได้มีการรายงานเรื่องคดีนี้เท่านั้น

คุณต้องการให้ศาลรายงานไปหรือไม่

อนึ่ง คุณมีสิทธิส่งจดหมายไปยังสถานทูตประเทศของคุณที่อยู่ในประเทศญี่ปุ่นได้ราบใดที่ไม่เป็นการละเมิดกฎหมายของประเทศญี่ปุ่น

บทที่ 4 การแจ้งให้ทราบข้อเท็จจริงที่กระทำผิด

1 ตัวอย่าง ความผิดฐานลักทรัพย์ (ขโมยของในร้านค้า)

“เมื่อวันที่ 10 เดือนพฤษภาคม ปี_____ เวลาประมาณ 13.23 น. ณ ร้านของ บริษัท_____ ซึ่งตั้งอยู่ที่เลขที่ 1-5-12 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว เป็นร้านที่อยู่ในความดูแลของผู้จัดการ A คุณได้ทำการลักขโมย ปากกามีกัซิม 5 ด้าม (รวมราคาจำหน่าย 5 หมื่นเยน) ไป”

2 ตัวอย่าง ความผิดฐานลักทรัพย์ (ขโมยรถจักรยานยนต์)

“เมื่อวันที่ 12 เดือนตุลาคม ปี_____ เวลาประมาณ 15.35 น. บนถนนตั้งอยู่เลขที่ 2-3-5 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว คุณได้ทำการลักขโมยรถจักรยานยนต์ ประเภทที่ 1 จำนวน 1 คัน (มูลค่าประมาณ 1 แสน 5 หมื่นเยน) ซึ่งอยู่ในความครอบครองของนาย A ไป”

3 ตัวอย่าง ความผิดฐานยกยอกสิ่งของที่ทำสูญหายและอื่น ๆ

“เมื่อวันที่ 21 เดือนกรกฎาคม ปี_____ เวลาประมาณ 21.30 น. ณ บริเวณที่จอดรถจักรยาน ซึ่งตั้งอยู่เลขที่ 5-3-4 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว คุณได้พบเห็น รถจักรยานซึ่งอยู่ในความครอบครองของนาย A จำนวน 1 คัน (มูลค่าประมาณ 6,000 เยน) ที่จอดทิ้งอยู่ เนื่องจากคุณได้เก็บไปเป็นสมบัติของตนเอง จึงถือได้ว่าทำการยกยอกสิ่งของนั้น”

4 ตัวอย่าง ความผิดฐานทำร้ายร่างกาย

“เมื่อวันที่ 15 เดือนมกราคม ปี_____ เวลาประมาณ 22.30 น. บนถนนเลขที่ 1-6-15 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว สาเหตุจากนาย A ได้เดินชนโดนร่างกายของคุณ จึงได้เกิดมีปากเสียงกัน และด้วยความโมโหคุณได้ใช้ท่อนไม้ที่ถืออยู่ซึ่งมีความยาวประมาณ 50 เซนติเมตร ดีไปที่หัวของนาย A 5, 6 ครั้งอย่างแรง เป็นเหตุให้นาย A ศีรษะแตกบริเวณด้านหน้า ต้องเข้ารับการรักษาพยาบาลเป็นระยะเวลา 3 สัปดาห์”

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成〇年6月13日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成〇年7月12日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成〇年1月31日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成〇年10月21日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

5 ตัวอย่าง ความผิดฐานปล้นทรัพย์

“เนื่องจากคุณมีความล่าช้ามากเรื่องค่าใช้จ่ายในการดำรงชีวิต จึงได้คิดวางแผนชิงทรัพย์จากคนที่ผ่านสัญจรไปมา ดังนั้นเมื่อวันที่ 13 เดือนมิถุนายน ปี_____ เวลาประมาณ 22.30 น. ณ บริเวณถนนเลขที่ 3-1-12 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว คุณได้พาตัวนาย A อายุ 18 ปี ซึ่งเดินผ่านมาไปยังชอยที่อยู่ใกล้ ๆ กัน และใช้มีดสำหรับใช้ในการป็นเขาที่พกมาจ้้นาย A พร้อมทั้งพูดว่า “カネダセ カネダセ” เป็นการขู้งัดบังคับไม่ให้นาย A ทำการขัดขืน จากนั้นได้แย่งชิงเอาเงินสดจำนวน 3 หมื่นเยนซึ่งเป็นของนาย A ที่ส่งออกมาให้ไปเสีย”

6 ตัวอย่าง ความผิดฐานฆ่าคนตาย (กรณีที่ 1)

“เมื่อวันที่ 12 กรกฎาคม ปี_____ เวลาประมาณ 22.30 น. ณ ห้องหมายเลข 1 ของหอพักเฮอิวะ ซึ่งตั้งอยู่เลขที่ 3-10-5 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว เนื่องจากคุณเกิดความเหนียวอ่อนต่อการเลี้ยงดูบุตรชายคนโตชื่อ A (ขณะนั้นอายุ 1 เดือน) เกิดความรู้สึกสิ้นหวังต่ออนาคต จนทำให้ตัดสินใจฆ่า A เสีย จึงได้นำผ้าเช็ดตัวที่ถืออยู่รัดคอของ A เป็นเหตุให้ A ขาดลมหายใจถึงแก่ความตายในทันที”

7 ตัวอย่าง ความผิดฐานฆ่าคนตาย (กรณีที่ 2)

“เมื่อวันที่ 31 มกราคม ปี_____ เวลาประมาณ 22.30 น. บนถนนเลขที่ 6-3-4 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว เนื่องจากคุณถูกนาย A (ขณะนั้นอายุ 19 ปี) ต่อว่าเรื่องไปกระทบถูกร่างกายเขา และถูกเขาเตะบริเวณท้องหลายครั้งอย่างไม่รู้เนื้อรู้ตัว จึงเกิดบันดาลโทสะ เกิดความคิดที่จะฆ่าและใช้มีดที่พกมา (ใบมีดยาวประมาณ 15 เซนติเมตร) แทงไปที่บริเวณหน้าอกด้านขวาของนาย A หลายครั้ง ทำให้เกิดบาดแผลที่หน้าอก หลังจากนั้นไม่นาน เนื่องจากการกระทำของคุณทำให้นาย A ถึงแก่ความตายเพราะเสียโลหิตเป็นจำนวนมาก ณ ที่เกิดเหตุนั้น”

8 ตัวอย่าง ความผิดฐานฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมการใช้ยากระตุ้นประสาท

“เมื่อวันที่ 21 เดือนตุลาคม ปี_____ เวลาประมาณ 22.30 น. โดยที่ไม่ได้รับการยกเว้นทางกฎหมายแต่ประการใด แต่ ณ ห้องหมายเลข 2 ของหอพักเฮอิวะ ซึ่งตั้งอยู่ที่เลขที่ 1-2-8 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว คุณได้ฉีดยาละลายที่มีส่วนผสมของสารเฟนิลเมธิอามีนโพรเพนลีนกัน้อยเข้าสู่ร่างกายของตนเอง ถือได้ว่าคุณได้ใช้ยากระตุ้นประสาท”

射し、覚せい剤を使用したものです。」

9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成○年5月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して○○区○○町方面から○○区○○町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成○年10月5日午後10時30分頃、東京都○○区○○町5丁目9番5号○○町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成○年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都○○区○○町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

13 売春防止法違反の例

9 ตัวอย่าง ความผิดฐานฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมยาพิษและสารมีพิษ

“เมื่อวันที่ 12 เดือนพฤษภาคม ปี_____ เวลาประมาณ 22.30 น. บนถนนเลขที่ 2-3-5 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว คุณได้สูดสารทอรีน ซึ่งมีผลทำให้เกิดความตื่นเต้น เกิดภาพหลอนและประสาทมึนชา อันจัดเป็นสารมีพิษตามกำหนดคำสั่งของคณะรัฐมนตรีโดยมิได้รับอนุญาต”

10 ตัวอย่าง ความผิดฐานทำให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตายจากการขับขี่โดยประมาท

“เมื่อวันที่ 12 เดือนตุลาคม ปี_____ เวลาประมาณ 15.35 น. บนถนนเลขที่ 3-7-8 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว ขณะที่คุณได้ขับรถยนต์ส่วนบุคคลธรรมดาโดยขับจากเมือง_____ เขต_____ มุ่งหน้าไปทางเมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียวด้วยความเร็ว 80 กิโลเมตรต่อชั่วโมง ข้างหน้าทางด้านซ้ายมีทางโค้งทำให้ทัศนวิสัยไม่ดี เป็นหน้าที่ของผู้ขับขี่ที่จะต้องลดความเร็วให้อยู่ในระดับที่สามารถบังคับพวงมาลัย หรือเหยียบเบรกได้อย่างทันท่วงที แต่คุณได้ละเลยหน้าที่นั้น ยังขับรถไปด้วยความเร็วเท่าเดิมโดยไม่บังคับพวงมาลัยอย่างมั่นคง ทำให้รถยนต์ของตุนวิ่งออกไปนอกเลนพุ่งเข้าชนกับรถยนต์ส่วนบุคคลธรรมดาของนาย A (อายุ 21 ปีในขณะนั้น) ที่วิ่งสวนทางมา ทำให้หน้ารถด้านขวาของตนเองไปปะทะชนหน้ารถของนาย A เป็นเหตุให้นาย A กระดูกขาขวาหักและได้รับบาดเจ็บบริเวณอื่น ๆ ต้องเข้ารับการรักษาตัวเป็นระยะเวลา 2 เดือน”

11 ตัวอย่าง การฝ่าฝืนกฎหมายจราจร (ขับรถโดยไม่มีใบขับขี่)

“เมื่อวันที่ 5 เดือนตุลาคม ปี_____ เวลาประมาณ 22.30 น. บริเวณที่แยก_____ เลขที่ 5-9-5 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว คุณได้ขับรถจักรยานยนต์ 2 ล้อ โดยที่ไม่มีใบอนุญาตขับขี่จากคณะกรรมการรักษาความปลอดภัยสาธารณะ”

12 ตัวอย่าง การฝ่าฝืนกฎหมายจราจร (ขับรถฝ่าฝืนความเร็วที่จำกัด)

“เมื่อวันที่ 13 เดือนกุมภาพันธ์ ปี_____ เวลาประมาณ 22.30 น. บนถนนตั้งอยู่ที่ 2-5-7 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว ซึ่งมีป้ายสัญญาณจราจรของคณะกรรมการรักษาความปลอดภัยสาธารณะกำหนดความเร็วให้ขับรถได้ไม่เกิน 40 กิโลเมตรต่อชั่วโมง แต่คุณได้ขับรถยนต์ส่วนบุคคลธรรมดาด้วยความเร็วเกินที่กำหนดไว้คือขับด้วยความเร็ว 80 กิโลเมตรต่อชั่วโมง”

13 ตัวอย่าง การฝ่าฝืนกฎหมายป้องกันการค้าประเวณี

「君は、売春をする目的で、平成○年3月10日午後6時35分頃、東京都○○区○○町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、○○国国籍を有する外国人で、平成○年6月12日、○○国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったものですが、在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成○年6月9日まで、東京都○○区○○町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

15 ぐ犯の例

「君は、○○国の養父母のもとで育ち、平成○年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都○○区○○町2丁目3番8号所在の、暴力団○○組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

第5 決定などの告知及びその説明

1 保護観察決定などの告知及びその説明

(1) 保護観察決定の告知及びその説明

“เมื่อวันที่ 10 เดือนมีนาคม ปี_____ เวลาประมาณ 18.35 น. บนถนนที่ตั้งอยู่ที่ 1-1-18 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว คุณได้พูดคุยกับชวณนาย A ซึ่งสัญจรผ่านมา ณ บริเวณดังกล่าวด้วยคำพูดว่า “アソビマセンカシヤチョウ。ホテルイイ3マンエン” ซึ่งการกระทำเช่นนี้ถือว่าเป็นการชักชวนให้ผู้อื่นเป็นคู่สำหรับการค้าประเวณีในที่สาธารณะ

14 ตัวอย่าง การฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมการเข้าออกเมืองและรับรองสถานภาพผู้อพยพ

“เมื่อวันที่ 12 เดือนมิถุนายน ปี_____ คุณเป็นคนต่างด้าวถือสัญชาติ_____ ถือหนังสือเดินทางออกโดยรัฐบาลประเทศ_____ เข้าประเทศญี่ปุ่นทางสนามบินนานาชาติโตเกียว ซึ่งตั้งอยู่ในเมืองนาริตะ จังหวัดชิบะ และได้รับอนุญาตให้อยู่ในประเทศญี่ปุ่นเพียงถึงวันที่ 27 มิถุนายน ในปีเดียวกันเท่านั้น แต่คุณไม่ได้เดินทางออกนอกประเทศญี่ปุ่นก่อนวันดังกล่าว ได้หยุดต่อเรื่อยมาจนกระทั่งถึงวันที่ 9 เดือนมิถุนายน ปี_____ โดยพักอาศัยอยู่ที่เลขที่ 3-5-12 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว ซึ่งเกินกำหนดเวลาที่อนุญาตไว้ ถือได้ว่าอยู่อย่างผิดกฎหมายในประเทศญี่ปุ่น”

15 ตัวอย่าง ความผิดที่มีโอกาสเกิดขึ้น

“คุณได้รับการเลี้ยงดูโดยพ่อแม่และเติบโตที่ประเทศ_____ เมื่อวันที่ 20 เดือนเมษายน ปี_____ คุณได้เดินทางเข้ามายังประเทศญี่ปุ่นเพื่อหารายได้ และได้เข้าทำงานเป็นหญิงเต็มเวลา ณ สถานที่เด่นระบำไปแห่งหนึ่ง ตั้งแต่วันที่ 1 เดือนพฤษภาคม หลังจากนั้นก็เปลี่ยนที่ทำงานหลายแห่งซึ่งเป็นงานแบบเดียวกัน ปัจจุบันได้ร่วมพักอาศัยอยู่ที่อพาร์ทเมนท์ที่ตั้งอยู่ที่ 2-3-8 เมือง_____ เขต_____ จังหวัดโตเกียว ของนาย A ที่เป็นนักแสดงตำแหน่งระดับสูงของแก๊งค์_____ ซึ่งเคยต้องโทษฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมยากระตุ้นประสาทร่วมกับนาย A และพรรคพวก และในระหว่างนี้คุณได้มีความสัมพันธ์ทางเพศกับแขกผู้มาชมระบำหลายสิบคนรวมถึงสมาชิกของกลุ่มนักแสดงนั้นอีกหลายคน โดยได้รับเงินเป็นค่าตอบแทน นอกจากนั้นคุณยังได้ไปเที่ยวในสถานที่ไม่สมควร และสมาคมกับบุคคลที่มีความเป็นไปได้ในการก่ออาชญากรรม เนื้อหาของคดีนี้คือเมื่อพิจารณาจากอุปนิสัยของคุณและสภาพแวดล้อมแล้ว ในอนาคตคุณมีโอกาสกระทำความผิดฐานฝ่าฝืนกฎหมายป้องกันการค้าประเวณีและฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมยากระตุ้นประสาทได้”

บทที่ 5 การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายของการพิพากษาคัดสินและเรื่องอื่น ๆ

1 การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายของการพิพากษาคัดสินให้ควบคุมความประพฤติและเรื่องอื่น ๆ

(1) การแจ้งให้ทราบคำอธิบายของการตัดสินให้ถูกควบคุมความประพฤติ

君を〇〇保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることとなります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることとなります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることとなります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第〇種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることとなります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

คุณจะถูกควบคุมความประพฤติจากสถานควบคุมความประพฤติ_____

ในระหว่างการควบคุมความประพฤติ คุณสามารถใช้ชีวิตในสังคม และคอยรับคำชี้แนะมาจากเจ้าหน้าที่ควบคุมความประพฤติ

(2) การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายของบทลงโทษตั้งเดือนควบคุมความประพฤติระยะสั้นเกี่ยวกับการจราจร

คุณจะได้รับ การควบคุมความประพฤติเกี่ยวกับเรื่อง การจราจร แต่จะกำหนดให้การควบคุมความประพฤติเกี่ยวกับเรื่อง การจราจรนี้จบสิ้นลงในระยะสั้น

ในระหว่างการควบคุมความประพฤติเกี่ยวกับเรื่อง การจราจร คุณสามารถใช้ชีวิตในสังคม และคอยรับคำชี้แนะจากเจ้าหน้าที่ควบคุมความประพฤติ และรับการฝึกอบรมเกี่ยวกับการจราจร

2 การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายเกี่ยวกับบทลงโทษส่งตัวไปยังสถานให้ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้สามารถดำรงชีวิตด้วยตนเองได้หรือสถานอุปการะดูแลผู้เยาว์

คุณจะถูกส่งตัวไปสถานให้ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้ดำรงชีวิตด้วยตนเองได้ (สถานอุปการะดูแลผู้เยาว์)

คุณจะต้องเข้าสถานให้ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้ดำรงชีวิตด้วยตนเองได้ (สถานอุปการะดูแลผู้เยาว์) และรับคำชี้แนะการใช้ชีวิตประจำวันจากเจ้าหน้าที่ของสถานที่ตั้งกล่าว

3 การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายของการพิพากษาให้ส่งตัวไปยังสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์และเรื่องอื่น ๆ

(1) การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายของการพิพากษาให้ส่งตัวไปยังสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์

คุณจะถูกส่งตัวไปสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ประเภทที่_____

ในระหว่างที่ถูกกักกันตัวอยู่ในสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ คุณจะได้รับการแนะนำการใช้ชีวิตประจำวันต่าง ๆ และรับการอบรมตตินิสัย

(2) การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายของค่าเดือนลงโทษ

ก. คำอธิบายค่าเดือนลงโทษระยะสั้น

สำหรับสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ ศาลจะกำหนดคำแนะนำในการลงโทษไว้ว่าการสิ้นสุดการลงโทษด้วยระยะเวลาสั้นถือว่าเหมาะสม

ข. คำอธิบายค่าเดือนลงโทษระยะเวลาสั้นเป็นพิเศษ

สำหรับสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ ศาลจะกำหนดคำแนะนำในการลงโทษไว้ว่าการสิ้นสุดการลงโทษด้วยระยะเวลาสั้นเป็นพิเศษถือว่าเหมาะสม

นอกจากนี้หากเป็นไปได้ศาลจะแนะนำให้คุณได้รับการฝึกอบรมในเชิงปลดปล่อย เช่น จะให้คุณเป็นผู้กำหนดแผนการใช้ชีวิตประจำวันบางส่วนและให้ปฏิบัติตามแผนการนั้น

4 การแจ้งให้ทราบถึงการพิจารณาไม่ลงโทษ

君を保護処分につさないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長（〇〇知事）に送致します。

6 検察官送致決定の告知

君の事件を〇〇地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・、②・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担させることにします。

คุณไม่ต้องรับการลงโทษควบคุมความประพฤติแต่ประการใด

5 การแจ้งให้ทราบถึงการพิพากษาสงคดียให้ผู้ว่าราชการจังหวัดหรือหัวหน้าศูนย์ให้คำปรึกษาเด็กและเยาวชน

ให้สงคดียของคุณไปให้หัวหน้าศูนย์ให้คำปรึกษาเด็กและเยาวชน_____ (ผู้ว่าราชการจังหวัด_____)

6 การแจ้งให้ทราบถึงการพิพากษาสงคดีไปให้พนักงานอัยการ

ให้สงคดีของคุณไปให้พนักงานอัยการประจำเขต_____

7 การแจ้งให้ทราบถึงการพิพากษาอนุมัติให้ใช้มาตรการบังคับ

ศาลจะสงคดียของคุณไปยังหัวหน้าศูนย์ให้คำปรึกษาเด็กและเยาวชน_____

อนุมัติให้หัวหน้าศูนย์ให้คำปรึกษาเด็กและเยาวชนใช้มาตรการบังคับจำกัดอิสรภาพตั้งแต่วันที่_____ เดือน_____ ปี_____ ถึงปี_____ โดยจำกัดไม่เกิน_____ วัน

8 การแจ้งให้ทราบถึงการพิพากษาไม่อนุมัติให้ใช้มาตรการบังคับ

ไม่อนุมัติให้หัวหน้าศูนย์ให้คำปรึกษาเด็กและเยาวชนใช้มาตรการบังคับต่อคุณ เช่น การจำกัดอิสรภาพของคุณ

9 การแจ้งและคำอธิบายของการพิพากษาให้สังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ

คุณจะได้รับการสังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบจากเจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัว_____

ก่อนที่จะพิพากษาดัดสินบทลงโทษครั้งสุดท้ายต่อคุณ จะมีการสังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ โดยจะนำตัวคุณไปฝากไว้กับสถานที่_____ เป็นระยะเวลาหนึ่งเพื่อให้ฝึกอบรมความประพฤติ (ในขณะที่เดียวกันสามารถกลับไปบ้านใช้ชีวิตเป็นปกติได้ในสังคม) เมื่อดูแลความประพฤติและการใช้ชีวิตของคุณได้ระยะหนึ่ง ศาลจะเปิดการพิจารณาคดีอีกครั้งเพื่อกำหนดบทลงโทษครั้งสุดท้าย

ศาลกำหนดระเบียบที่คุณจะต้องปฏิบัติตามในระหว่างสังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบคือ

1 _____ 2 _____

10 การแจ้งให้ทราบถึงการพิพากษาให้ยึด

ของที่อายัดไว้คือ_____ ให้ทำการยึดเสีย

11 การแจ้งให้ทราบว่าพิพากษาให้รับผิดชอบค่าใช้จ่ายในการพิจารณาคดี

ตัดสินว่าให้คุณเป็นคนจ่ายค่าใช้จ่ายในการพิจารณาคดีซึ่งคือค่าทนายความก่อนที่จะถูกส่งตัวมายังศาลครอบครัวจำนวน_____ หมื่นเยน

12 戻し収容決定の告知

君を第○種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成○年○月○日まで第○種少年院に継続して収容します。

14 保護処分取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致，児童養護施設送致，少年院送致）
決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

〔前記 2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）
及び 3（少年院送致決定などの告知及びその説明）参照〕

12 การแจ้งให้ทราบวาพิพาคษาให้กลับที่คุมขัง

ให้ส่งคุณกลับไปยังที่คุมขังของสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ประเภทที่_____

13 การแจ้งให้ทราบถึงการพิพาคษาให้กักขังต่อเนื่อง

คุณจะต้องถูกกักกันตัวในสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ประเภทที่_____ ต่อจนถึงวันที่_____
เดือน_____ ปี_____

14 การแจ้งให้ทราบถึงการยกเลิกค่าพิพาคษาลงโทษควบคุมความประพฤติ

ศาลยกเลิกค่าพิพาคษาลงโทษควบคุมความประพฤติต่อตัวคุณ (ส่งตัวเข้าสถานให้ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้สามารถดำรงชีวิตด้วยตนเองได้, ส่งตัวเข้าสถานอุปการะดูแลผู้เยาว์, สถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์)

15 การแจ้งให้ทราบถึงค่าพิพาคษาว่าให้ส่งตัวเข้าสถานอุปการะสงเคราะห์ต่าง ๆ

[ดูข้อ 2 (การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายเกี่ยวกับบทลงโทษส่งตัวไปยังสถานให้ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้สามารถดำรงชีวิตด้วยตนเองได้หรือสถานอุปการะดูแลผู้เยาว์) และข้อ 3 (การแจ้งให้ทราบและคำอธิบายของการพิพาคษาให้ส่งตัวไปยังสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์และเรื่องอื่น ๆ) ประกอบ]

第6 書式例

書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について（ ）少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
 - (1) 観護措置
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
 - (2) 調査
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
 - (3) 審判
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。
審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めるときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 保護観察
通常の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

แบบฟอร์มที่ 1 หนังสือถึงผู้เยาว์และผู้ปกครอง (กรณีผู้เยาว์ถูกควบคุมตัว)

แจ้งถึงผู้เยาว์และผู้ปกครอง

1 ศาลขอแจ้งให้ทราบว่าผู้เยาว์ได้กระทำความผิดคดีควบคุมความประพฤติ _____ ผู้เยาว์จะต้องถูกส่งตัวเข้าสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์ _____ ซึ่งนับแต่บัดนี้ไปผู้เยาว์จะได้รับการปฏิบัติตามขั้นตอนของกฎหมายดังต่อไปนี้

- (1) มาตรการควบคุมดูแล
ในสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์ ผู้เยาว์จะถูกกักกันตัวเพื่อทำการตรวจสภาพร่างกายและจิตใจ ช่วงระยะเวลาของการกักกันตัวในสถานที่แห่งนี้โดยปกติแล้วจะนานที่สุด 4 สัปดาห์ อนึ่ง บางกรณีอาจมีการขอยืดระยะเวลาออกไปได้นานสูงสุดถึง 8 สัปดาห์
- (2) การตรวจสอบ
เจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัวจะทำการตรวจสอบเกี่ยวกับผู้เยาว์ไปพร้อมกับการพิสูจน์ผู้เยาว์ตามข้อ (1) วัตถุประสงค์ของการตรวจสอบนั้นมีใช้เพียงเพื่อให้ทราบสาเหตุที่กระทำผิดและลักษณะอุปนิสัยใจคอของผู้เยาว์เท่านั้น แต่ยังไม่เพื่อความเข้าใจอย่างถ่องแท้ถึงสภาพแวดล้อมเกี่ยวกับครอบครัว โรงเรียน ที่ทำงาน และความสัมพันธ์ระหว่างเพื่อน เป็นต้น ทั้งนี้ เพื่อที่จะนำมาใช้ในการพิจารณาโทษที่เหมาะสมที่สุดแก่ตัวผู้เยาว์
- (3) การพิจารณาคดี
เมื่อเสร็จสิ้นการตรวจสอบตามข้อ (2) แล้ว จะเปิดการพิจารณาคดี การพิจารณาคดีเป็นศาลประเภทหนึ่งซึ่งจะดำเนินการอย่างไม่เปิดเผย ผู้ที่จะร่วมขึ้นศาลพิจารณาคดี ได้แก่ ผู้เยาว์ ผู้ปกครอง (ถ้ามีผู้ติดตามก็ให้ร่วมด้วย) (บางกรณีอาจให้ครูในโรงเรียน ผู้อุปการะหรือพนักงานอัยการ ฯลฯ เข้าร่วมก็ได้)
ในการพิจารณาคดีจะพิจารณาสอบสวนว่าผู้เยาว์ได้กระทำความผิดจริงหรือไม่ รวมทั้งมีปัญหาเกี่ยวกับอุปนิสัย และปัญหาเกี่ยวกับสภาพแวดล้อมต่าง ๆ หรือไม่ จากนั้นผู้พิพากษาจะตัดสินพิพากษาโดยนำผลสรุปจากการตรวจสอบของเจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัวมาร่วมพิจารณาประกอบด้วย หากมีคำถามใดจากผู้พิพากษาหรือบุคคลอื่นที่ไม่ตรงกับความเป็นจริงหรือยอมรับไม่ได้ ก็ขอให้กล่าวแย้งได้ นอกจากนี้หากต้องการให้ตรวจสอบพยานบุคคลหรือหลักฐานต่าง ๆ ก็สามารถที่จะร้องขอต่อศาลได้ (หากศาลเห็นว่าจำเป็นสมควรอนุมัติ จึงจะตรวจสอบพยานหลักฐานนั้น ๆ ได้)

- 2 ศาลครอบครัวกำหนดบทลงโทษดังนี้
- (1) การควบคุมความประพฤติ
ผู้เยาว์สามารถใช้ชีวิตอย่างปกติได้ในสังคม ในขณะที่เดียวกันเจ้าหน้าที่ควบคุมความประพฤติจากสถานควบคุมความประพฤติจะคอยให้คำชี้แนะดูแลความประพฤติของผู้เยาว์เพื่อปรับปรุงตัวผู้เยาว์ และวางแผนในการกลับเข้าสู่สังคม
 - (2) การส่งตัวเข้าสถานให้ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้สามารถดำรงชีวิตด้วยตนเองได้หรือส่งตัวเข้าสถานอุปการะดูแลผู้เยาว์
ผู้เยาว์จะถูกส่งเข้ากักกันตัวในสถานที่ดังกล่าวเพื่อรับการชี้แนะในสิ่งที่จำเป็นและอุปการะดูแล
 - (3) การส่งตัวเข้าสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์
ผู้เยาว์จะถูกส่งตัวเข้ากักกันตัวในสถานที่อบรมความประพฤติเพื่อรับการอบรมตัดนิสัย
 - (4) การส่งคดีไปยังพนักงานอัยการ
ผู้เยาว์จะถูกดำเนินการตามขั้นตอนของศาลอาญาเช่นเดียวกับผู้บรรลุนิติภาวะ โดยส่งคดีไปยังพนักงานอัยการ
 - (5) การไม่ลงโทษ
พิพากษาไม่ลงโทษในกรณีที่ผู้เยาว์ไม่มีความผิด หรือมีความผิดแต่ไม่ถึงกับต้องลงโทษ
 - (6) การให้สังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ
ก่อนที่ศาลจะพิพากษาคัดลงโทษตามข้อ (1) ถึงข้อ (5) ที่กล่าวมาข้างต้น ในช่วงระยะหนึ่งจะมีการสังเกตความประพฤติตลอดจนผลสอบของผู้เยาว์ ในระหว่างช่วงเวลาสังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ อาจมีการฝากผู้เยาว์ไว้กับสถานที่ของเอกชน เป็นต้น เพื่อให้รับการอบรมชี้แนะในเรื่องต่าง ๆ ก็ได้ (การฝากให้ฝึกอบรม)

- 3 ผู้เยาว์และผู้ปกครองมีสิทธิต่าง ๆ ดังต่อไปนี้
- (1) สิทธิในการเลือกผู้ติดตาม
ผู้เยาว์และผู้ปกครองมีสิทธิเลือกผู้ติดตามได้ ผู้ติดตามคือผู้จะให้ความร่วมมือในการพิจารณาคดีต่อศาลครอบครัว ในขณะที่เดียวกันจะเป็นทนายจำเลยในคดีอาญาด้วย แต่ไม่จำเป็นต้องเป็นทนายความเสมอไป ผู้ปกครองหรือบุคคลทั่วไปสามารถเป็นผู้ติดตามได้ ทั้งนี้ต้องให้ศาลอนุมัติเสียก่อน
 - (2) สิทธิที่จะเจียบไม่ให้การใด ๆ
เมื่อผู้เยาว์ถูกผู้พิพากษาหรือบุคคลอื่นตั้งคำถาม ไม่จำเป็นที่จะต้องพินใจตอบแต่ประการใด แต่เนื่องจากศาลจะนำคำให้การของผู้เยาว์มาพิจารณาประกอบเพื่อพิพากษาคัดลงโทษที่เหมาะสมสำหรับผู้เยาว์ ฉะนั้นหากมีสิ่งใดที่ต้องการจะพูดก็ขอให้พูดอย่างถูกต้องชัดเจน
 - (3) สิทธิในการยื่นคำร้องอุทธรณ์
หากไม่พอใจต่อคำพิพากษาในข้อ (1) ถึงข้อ (3) ของข้อ 2 ผู้เยาว์หรือผู้แทนทางกฎหมายหรือผู้ติดตามมีสิทธิยื่นคำร้องคัดค้านต่อศาลอุทธรณ์ได้ภายใน 2 สัปดาห์

4 นอกเหนือจากข้อความที่ได้กล่าวมาแล้ว หากมีสิ่งใดไม่เข้าใจ ขอให้สอบถามต่อเลขานุการศาลหรือเจ้าหน้าที่ตรวจสอบที่รับผิดชอบเรื่องได้

ลงวันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

ศาลครอบครัว _____ แขวง _____

書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - （1）保護観察
通常の世界生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - （2）児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - （3）少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - （4）検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - （5）不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - （6）試験観察
（1）から（5）までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - （1）付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - （2）黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - （3）不服申立書
2の（1）から（3）までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

แบบฟอร์มที่ 2 หนังสือถึงผู้เยาว์และผู้ปกครอง (คดีที่ให้ผู้เยาว์อยู่บ้าน)

แจ้งถึงผู้เยาว์และผู้ปกครอง

1 ศาลขอแจ้งให้ทราบว่าผู้เยาว์ได้กระทำความผิดคดี_____และจะดำเนินการพิจารณาคดีในศาลครอบครัวต่อไป การพิจารณาคดีเป็นศาลประเภทหนึ่งซึ่งจะดำเนินการอย่างไม่เปิดเผย ผู้ที่จะร่วมขึ้นศาลพิจารณาคดี ได้แก่ ผู้เยาว์ ผู้ปกครอง (ถ้ามีผู้ติดตามก็ให้ร่วมด้วย) (บางกรณีอาจให้ครูในโรงเรียน ผู้อุปการะหรือพนักงานอัยการ ฯลฯ เข้าร่วมก็ได้) ในการพิจารณาคดี จะพิจารณาสอบสวนว่าผู้เยาว์ได้กระทำความผิดจริงหรือไม่ อีกทั้งมีปัญหาเกี่ยวกับอุปนิสัยและปัญหาเกี่ยวกับสภาพแวดล้อมต่าง ๆ หรือไม่ จากนั้น ผู้พิพากษาจะตัดสินพิพากษาโดยนำผลสรุปจากการตรวจสอบของเจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัว มาร่วมพิจารณาประกอบด้วย

หากมีคำถามใดจากผู้พิพากษาหรือบุคคลอื่น ที่ไม่ตรงกับความเป็นจริงหรือยอมรับไม่ได้ ก็ขอให้กล่าวแย้งได้ นอกจากนี้หากต้องการให้ตรวจสอบพยานบุคคลหรือหลักฐานต่าง ๆ ก็สามารถที่จะร้องขอต่อศาลได้ (หากศาลเห็นว่าจำเป็นสมควรอนุมัติ จึงจะตรวจสอบพยานหลักฐานนั้น ๆ ได้)

2 ศาลครอบครัวกำหนดบทลงโทษดังนี้

(1) การควบคุมความประพฤติ

ผู้เยาว์สามารถใช้ชีวิตอย่างปกติได้ในสังคม ในขณะที่เดียวกันเจ้าหน้าที่ควบคุมความประพฤติจากสถานควบคุมความประพฤติจะคอยให้คำชี้แนะดูแลความประพฤติของผู้เยาว์เพื่อปรับปรุงตัวผู้เยาว์ และวางแผนในการกลับเข้าสู่สังคม

(2) การส่งตัวเข้าสถานที่ให้ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้สามารถดำรงชีวิตด้วยตนเองได้หรือส่งตัวเข้าสถานอุปการะดูแลผู้เยาว์

ผู้เยาว์จะถูกส่งเข้ากักกันตัวในสถานที่ดังกล่าวเพื่อรับการชี้แนะในสิ่งที่จำเป็นและอุปการะดูแล

(3) การส่งตัวเข้าสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์

ผู้เยาว์จะถูกส่งตัวเข้ากักกันตัวในสถานที่อบรมความประพฤติเพื่อรับการอบรมตัดนิสัย

(4) การส่งคดีไปยังพนักงานอัยการ

ผู้เยาว์จะถูกดำเนินการตามขั้นตอนของศาลอาญาเช่นเดียวกับผู้บรรลุนิติภาวะโดยส่งคดีไปยังพนักงานอัยการ

(5) การไม่ลงโทษ

พิพากษาไม่ลงโทษในกรณีที่ผู้เยาว์ไม่มีความผิด หรือมีความผิดแต่ไม่ถึงกับต้องลงโทษ

(6) ให้สังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ

ก่อนที่ศาลจะพิพากษาคัดสินลงโทษตามข้อ (1) ถึงข้อ (5) ที่กล่าวมาข้างต้น ในช่วงระยะหนึ่งจะมีการสังเกตความประพฤติตลอดจนผลสอบของผู้เยาว์ ในระหว่างช่วงเวลาสังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ อาจมีการฝากผู้เยาว์ไว้ให้กับสถานที่ของเอกชน เป็นต้น เพื่อให้รับการอบรมชี้แนะในเรื่องต่าง ๆ ก็ได้ (การฝากให้ฝึกอบรม)

3 ผู้เยาว์และผู้ปกครองมีสิทธิต่าง ๆ ดังต่อไปนี้

(1) สิทธิในการเลือกผู้ติดตาม

ผู้เยาว์และผู้ปกครองมีสิทธิเลือกผู้ติดตามได้ ผู้ติดตามคือผู้จะให้ความร่วมมือในการพิจารณาคดีต่อศาลครอบครัว ในขณะที่เดียวกันจะเป็นนายจำเลยในคดีอาญาด้วย แต่ไม่จำเป็นต้องเป็นนายความเสมอไป ผู้ปกครองหรือบุคคลทั่วไปสามารถเป็นผู้ติดตามได้ ทั้งนี้ต้องให้ศาลอนุมัติเสียก่อน

(2) สิทธิที่จะเจียบไม่ให้การใด ๆ

เมื่อผู้เยาว์ถูกผู้พิพากษาหรือบุคคลอื่นตั้งคำถาม ไม่จำเป็นที่จะต้องพินิจตอบแต่ประการใด แต่เนื่องจากศาลจะนำคำให้การของผู้เยาว์มาพิจารณาประกอบเพื่อพิพากษาคัดสินบทลงโทษที่เหมาะสมสำหรับผู้เยาว์ ฉะนั้นหากมีสิ่งใดที่ต้องการจะพูดก็ขอให้พูดอย่างถูกต้องชัดเจน

(3) สิทธิยื่นคำร้องอุทธรณ์

หากไม่พอใจในคำพิพากษาต่อข้อ (1) ถึงข้อ (3) ของข้อ 2 ผู้เยาว์หรือผู้แทนทางกฎหมายหรือผู้ติดตามมีสิทธิยื่นคำร้องคัดค้านต่อศาลอุทธรณ์ได้ภายใน 2 สัปดาห์

4 นอกเหนือจากข้อความที่ได้กล่าวมาแล้ว หากมีสิ่งใดไม่เข้าใจ ขอให้สอบถามต่อเลขานุการศาลหรือเจ้าหน้าที่ตรวจสอบที่รับผิดชอบเรื่องได้

ลงวันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

ศาลครอบครัว _____ แขวง _____

書式 3 審判期日通知書

平成 年 第 少年 第 号	保護事件
(備考)	
<p>審判期日通知書</p> <p>少年 <u> </u> 殿</p> <p>保護者 <u> </u> 殿</p> <p>上記少年に対する保護事件の審判が開かれることになりましたから、少年と保護者の方は一緒にこの書面を持って、</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日 午前 午後 時 分</p> <hr style="width: 50%; margin: auto;"/> <p>に当裁判所に出頭してください。</p> <p>(注意) この期日に出頭できないときは、その理由を詳しく書いた書面を必ず下記裁判所書記官あて至急送ってください。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁判所書記官</p> <p style="text-align: right;">家庭裁判所 電話 () (代表) 内線 番</p>	

แบบฟอร์มที่ 3 ใบแจ้งวันพิจารณาคดี

ปี _____ ผู้เยาว์เลขที่ _____

คดีควบคุมความประพฤติ

ใบแจ้งวันพิจารณาคดี

ถึงผู้เยาว์ _____

ผู้ปกครอง _____

ศาลจะเปิดการพิจารณาคดีควบคุมความประพฤติของผู้เยาว์ที่มีชื่อข้างต้นนี้ ขอให้ผู้เยาว์
พร้อมด้วยผู้ปกครองนำใบแจ้งนี้มาปรากฏตัวที่ศาลครอบครัวตามวันเวลาข้างล่างนี้

วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____ เวลา (เช้า บ่าย) _____ น. _____ นาที

(คำเตือน) ถ้าไม่สามารถมาปรากฏตัวตามที่กำหนดนี้ ให้เขียนเหตุผลโดยละเอียดส่งมาที่
เจ้าหน้าที่นิติกรศาลโดยด่วน

วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

ศาลครอบครัว

เจ้าหน้าที่นิติกรศาล

(หมายเหตุ)

ศาลครอบครัว

โทร _____ (หมายเลขหลัก)

ต่อ _____

書式 4 呼出状

平成 年 少年第 号

呼 出 状

少年 殿

保護者 殿

少年

年 月 日生

住居

上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 午前 時行います
ので に出頭して下さい。

なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出して下さい。
2 病气その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡して下さい。

แบบฟอร์มที่ 4 หมายถึง

ปี _____ ผู้เยาว์เลขที่ _____

หมายเรียก

ถึงผู้เยาว์ _____

ผู้ปกครอง _____

ชื่อผู้เยาว์ _____
เกิดเมื่อวันที่ _____ เดือน _____ ปี _____
ที่อยู่ _____

ศาลจะเปิดการพิจารณาคดีสอบสวนคดีควบคุมความประพฤติของผู้เยาว์ที่มีชื่อข้างต้น

ในวันที่ _____ เดือน _____ ศกนี้ เวลา (เช้า บ่าย) _____ น. _____ นาที

ดังนั้นจึงขอให้มาปรากฏตัวที่ _____ ด้วย

อนึ่ง หากไม่มาปรากฏตัวตามหมายเรียกนี้โดยไม่มีเหตุผลสมควร ศาลอาจจะออกหมายให้เดินทางพร้อมกับเจ้าหน้าที่ได้

วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____
ศาลครอบครัว _____
ผู้พิพากษา _____

ข้อควรระวัง

- 1 ในวันที่นัดให้นำตราประทับพร้อมด้วยหมายเรียกนี้มาแสดงที่ห้องเจ้าหน้าที่นิติกรศาล
- 2 ให้โทรศัพท์หรือเขียนจดหมายถึงเจ้าหน้าที่นิติกรศาลทราบในกรณีที่ป่วยหรือมีเหตุอื่นที่ทำให้ไม่สามารถมาปรากฏตัวได้

書式 5 呼出状 (調査)

平成 年 第 号 事件 少年 年 月 日 少年又は保護者が、病氣、不在等でやむを得ず出頭できない場合は、その旨を担当調査官に連絡してください。 3 当日、 を必ず持参してください。	(備考) 1 平成 年 月 警察署調べの件です。 2 少年又は保護者が、病氣、不在等でやむを得ず出頭できない場合は、その旨を担当調査官に連絡してください。 3 当日、 を必ず持参してください。
平成 年 月 日 (曜) 午前 時 分 午後 時 分 少年 殿 保護者 殿 少年の保護事件について調査しますので、少年と保護者は、 月 日 (曜) 午前 時 分 この呼出状を持って、 家庭裁判所 階 少年調査官室に出頭してください。	家庭裁判所 電話 () (代表) 番 内線
平成 年 月 日 家庭裁判所調査官	家庭裁判所 電話 () (代表) 番 内線

แบบฟอร์มที่ 5 หมายถึง (เพื่อตรวจสอบ)

ปี _____ ผู้เยาว์เลขที่ _____ คดี _____

หมายเรียก

ถึงผู้เยาว์ _____

ผู้ปกครอง _____

ศาลจะทำการสอบสวนผู้เยาว์ที่เกี่ยวกับคดีควบคุมความประพฤติผู้เยาว์พร้อมด้วยผู้ปกครอง ขอให้มาหมายเรียกนี้มาปรากฏตัวที่ห้องเจ้าหน้าที่ตรวจสอบผู้เยาว์ ในวันที่ _____ เดือน _____ ศกนี้ เวลา (เช้า บ่าย) _____ น. _____ นาที ณ ศาลครอบครัว _____ ชั้น _____ ห้องเจ้าหน้าที่สอบสวนผู้เยาว์

วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

ศาลครอบครัว _____

เจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัว _____

(หมายเหตุ)

ข้อควรระวัง

1 เป็นคดีซึ่งสอบสวนที่สถานีตำรวจในวันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

2 ในกรณีที่ผู้เยาว์หรือผู้ปกครองป่วยหรือไม่อยู่ ไม่สามารถมาปรากฏตัวได้ ต้องแจ้งให้เจ้าหน้าที่ตรวจสอบที่เกี่ยวข้องทราบ

3 ในวันที่นัดต้องนำ _____ ติดตัวมาด้วย

ศาลครอบครัว

โทร _____ (หมายเลขหลัก)

ต่อ _____

書式 6 同行状 (緊急)

平成 年 (少) 第 号	執行指揮印
<h2 style="margin: 0;">同行状 (緊急)</h2>	
少年 _____ 年 _____ 月 _____ 日生	
住居 _____	
<p>上記少年の _____ 保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。</p> <p style="text-align: center;">有効期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで</p> <p style="text-align: center;">この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁 判 官</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(審判に付すべき事由) _____ 別紙記載のとおり</p> <p>(緊急同行状を発付する理由) _____ 別紙記載のとおり</p> <p>(適条) _____ 少年法 12 条 1 項</p> <p>(参考)</p> <p>1 予想される少年の立ち回り先 _____</p> <p>2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付</p>	
執行した日時	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分
執行した場所	_____
執行することができなかったときはその理由	_____ ----- _____
所 属 ・ 官 職	氏名 _____ 印 _____
同行された日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分	
裁判所書記官	

แบบฟอร์มที่ 6 หมายให้เดินทางพร้อมผู้เยาว์ (หมายตามตัวด่วน)

ปี _____ (ผู้เยาว์) เลขที่ _____		ตราผู้ปฏิบัติการ	
<u>หมายให้เดินทางพร้อมผู้เยาว์ (หมายตามตัวด่วน)</u>			
ชื่อผู้เยาว์ _____ เกิดเมื่อวันที่ _____ เดือน _____ ปี _____ ภูมิลำเนา _____			
เนื่องด้วยคดีควบคุมความประพฤติ _____ ของผู้เยาว์ที่มีรายชื่อ ข้างต้น จากเหตุผลดังต่อไปนี้ขอให้ท่านเดินทางพร้อมผู้เยาว์มายังศาล หมายตามตัวนี้มีอำนาจถึงวันที่ _____ เดือน _____ ปี _____ หมายตามตัวนี้ หากพ้นกำหนดที่ระบุไว้ข้างต้น จะไม่มีอำนาจในการดำเนินการได้ ในกรณีนี้ จะต้องส่งหมายนี้คืนไปยังศาล วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____ ศาลครอบครัว _____ ผู้พิพากษา _____			
บันทึก			
(สาเหตุที่ทำให้มีการพิจารณาคดี) ดังรายละเอียดที่บันทึกในเอกสารแนบท้าย (เหตุผลที่ออกหมายตามตัวด่วน) ดังรายละเอียดที่บันทึกในเอกสารแนบท้าย (กฎหมายอ้างอิง) กฎหมายผู้เยาว์มาตราที่ 12 , วรรค 1 (ข้ออ้างอิง)			
1 สถานที่ที่คาดว่าจะตามพบผู้เยาว์ _____			
2 หมายตามตัวนี้ออกให้แก่สถานีตำรวจ _____			
วันเวลาดำเนินการ	วันที่	เดือน	ปี
สถานที่ดำเนินการ	เช้า, บ่าย	น.	นาที
เหตุผลที่ไม่สามารถดำเนินการได้			
สังกัด ตำแหน่ง	ชื่อ	ตราประทับ	
ออกหมายเมื่อวันที่	เดือน	ปี	เวลาเช้า, บ่าย
		น.	นาที
เจ้าหน้าที่นิติกรศาล			

書式 7 観護措置通知書

平成 年 少年第 号 保 護 事 件

観護措置通知書

殿

少年

年 月 日生

上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 所 書 記 官

แบบฟอร์มที่ 7 ใบแจ้งมาตรการควบคุมดูแล

ปี _____ ผู้เยาว์เลขที่ _____ คดีควบคุมความประพฤติ _____

ใบแจ้งมาตรการควบคุมดูแล

ถึง _____

ชื่อผู้เยาว์ _____
เกิดวันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

เกี่ยวกับคดีควบคุมความประพฤติของผู้เยาว์ตามความข้างต้น ศาลขอแจ้งให้ทราบว่า ผู้เยาว์ได้ถูกควบคุมตัวไว้ ณ สถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์ _____ ตั้งแต่ วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____ เพื่อความจำเป็นในการพิจารณาคดีต่อไป

วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

ศาลครอบครัว _____

เจ้าหน้าที่นิติกรศาล _____

平成

年(少)第

号

付 添 人 選 任 届

家庭裁判所 御中

少年

に対する

保護事件について

弁護士

を付添人に選任いたしましたから連署の上お

届けいたします。

平成 年 月 日

選任者(少年保護者)

付添人住所

付 添 人

(注) 選任者()内は該当するものに○印をつける。

แบบฟอร์มที่ 8 ใบแจ้งเลือกผู้ติดตาม

ปี_____ (ผู้เยาว์) เลขที่_____

ใบแจ้งเลือกผู้ติดตาม

เรียน ศาลครอบครัว_____

สำหรับผู้ติดตามสำหรับผู้เยาว์ชื่อ_____ ในคดีควบคุมความ
ประพฤติ_____ ข้าพเจ้าได้ทำการเลือกแล้ว โดยที่ผู้ติดตามเป็น
ทนายความชื่อ_____ จึงเรียนมาเพื่อทราบ

วันที่_____ เดือน_____ ปี_____

ผู้เลือก (ผู้เยาว์ ผู้ปกครอง)_____

ที่อยู่ผู้ติดตาม_____

ชื่อผู้ติดตาม_____

(หมายเหตุ) ให้เขียนเครื่องหมาย O ล้อมรอบข้อความในวงเล็บของผู้เลือก ()

書式 9 付添人選任に関する通知及び照会

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少年 殿

保護事件名

あなたの事件では、慎重に手続きを進めるため、弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは、裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで、同封した回答書に答えて書いて、 月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは、鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者)

電話 内線 番

แบบฟอร์มที่ 9 ใบแจ้งและสอบถามเรื่องเลือกผู้ติดตาม

(มาตรา 22 วรรค 3 ข้อ 1, ปรับปรุงมาตรา 30 วรรค 3 ข้อ 1)

ปี _____ (ผู้เยาว์) เลขที่ _____

ใบแจ้งและสอบถามเรื่องเลือกผู้ติดตาม

ถึงชื่อผู้เยาว์ _____

ชื่อคดีที่ถูกควบคุมตัว _____

คดีของท่านเป็นคดีที่จะต้องดำเนินการด้วยความรอบคอบ ฉะนั้นจะต้องมีนายความเป็นผู้ติดตามในการดำเนินการพิจารณาคดี

หากท่านหรือครอบครัวของท่านไม่จัดหาทนายความให้เป็นผู้ติดตาม ทางศาลจะเป็นผู้จัดหาทนายความเป็นผู้ติดตามให้แก่ท่าน

ฉะนั้น ขอให้กรอกข้อความในใบตอบข้อสอบถามที่แนบมาด้วยนี้ และส่งไปยังศาลครอบครัว _____ ภายในวันที่ _____ เดือน _____ ในกรณีที่ท่านอยู่ในสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์ขอให้มอบเอกสารนี้ต่อเจ้าหน้าที่ของสถานกักกันนั้น

วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

ศาลครอบครัว _____ (เจ้าหน้าที่รับผิดชอบ _____)

โทรศัพท์ _____ ต่อ _____

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について、次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

- 私か私の家族が弁護士である付添人をつけます
付添人の名前は, (弁護士会) です。
(分かれば書いてください。)
- 裁判所で弁護士である付添人をつけてください。

平成 年 月 日

少年 印

แบบฟอร์มที่ 10 ใบตอบรับเกี่ยวกับการเลือกผู้ติดตาม

(มาตรา 22 วรรค 3 ข้อ 1, ปรับปรุงมาตรา 30 วรรค 3 ข้อ 1)

ปี_____ (ผู้เยาว์) เลขที่_____

ใบตอบรับเกี่ยวกับการเลือกผู้ติดตาม

เรียน ศาลครอบครัว_____

เกี่ยวกับคดีความคดีตัว ข้าพเจ้าขอให้ศาลตอบดังต่อไปนี้

*กรณาชี้ดเครื่องหมายถูก

- ข้าพเจ้า หรือ ครอบครัวของข้าพเจ้าขอแต่งตั้งให้ทนายความเป็นผู้ติดตาม
ชื่อผู้ติดตาม_____ (แห่งสมาคมทนายความ)_____)
(หากทราบกรณายื่นด้วย)
- ขอให้ศาลเป็นผู้จัดหาทนายความให้เป็นผู้ติดตามด้วย

วันที่_____ เดือน_____ ปี_____

ชื่อผู้เยาว์_____ ตราประทับ

決 定 通 知 書

少 年 殿

(保護者) 殿

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

少年に対する平成 年少第 号 保護事件について
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。

この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再
び過ちを犯さないよう心がけてください。

แบบฟอร์มที่ 11 ใบแจ้งคำพิพากษา (พิพากษาให้ไม่เปิดการพิจารณาคดี)

ใบแจ้งคำพิพากษา

ถึงผู้เยาว์ _____

ผู้ปกครอง _____

วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

ศาลครอบครัว _____

เจ้าหน้าที่นิติกรศาล _____

เกี่ยวกับคดีควบคุมความประพฤติ _____ ของผู้เยาว์ปี _____

เลขที่ _____ ผลการสอบสวนของวันนี้โดยผู้พิพากษา _____

โดยอาศัยอำนาจตามกฎหมายผู้เยาว์มาตราที่ 19 วรรคที่ 1 ตัดสินให้ปิดคดีเพียงเท่านี้โดยไม่
ต้องมีการเปิดพิจารณาคดีแต่ประการใด

การพิพากษาดังกล่าวในครั้งนี้น่าหวังให้ผู้เยาว์เกิดความสำนึกต่อสิ่งที่ตนได้กระทำลงไป
เพื่อที่จะไม่กระทำความผิดขึ้นอีก ฉะนั้นขอให้ผู้เยาว์พึงระลึกตนอยู่เสมอเพื่อมิให้กระทำความผิด
ซ้ำอีก

平成 年 少年 第 号

証人 召喚 状

証人 _____ 殿

少年

上記少年に対する 保護事件について、あなたを証人としてお尋ねしますから、来る 月 日 午前 時 分に当裁判所少年審判廷（ 階）に出頭してください。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 官

- 注 1 出頭の際は、印鑑を持参し、この召喚状を差し出してください。出頭したときは、旅費、日当を請求することができます。
- 2 正当な理由がないのに出頭しないときは、勾引されたり、科料又は罰金、もしくは拘留に処せられたりすることがあります。

แบบฟอร์มที่ 12 ใบแจ้งเลือกผู้ติดตาม

ปี _____ ผู้เยาว์เลขที่ _____

<p><u>หมายเรียกพยาน</u></p>
ถึงพยาน _____
ผู้เยาว์ _____
เกี่ยวกับคดีควบคุมความประพฤติ _____ ของผู้เยาว์ที่มีชื่อข้างต้นนี้ ศาลมีเรื่องขอสอบถามคุณในฐานะพยานให้การ ดังนั้นโปรดมาปรากฏตัว ณ ศาลครอบครัวแห่งนี้ (ชั้น _____) ในวันที่ _____ เดือน _____ ศกนี้ เวลา (เช้า บ่าย) _____ น. _____ นาที
วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____
ศาลครอบครัว _____
ผู้พิพากษา _____

ข้อควรระวัง

- 1 ในวันที่มาปรากฏตัวกรุณานำตราประทับและหมายเรียกพยานนี้ติดตัวมาด้วย ท่านสามารถขอเบิกค่าเดินทางและเบี้ยเลี้ยงรายวันสำหรับการเดินทางมาเป็นพยานในครั้งนี้ได้
- 2 ในกรณีที่ไมามาปรากฏตัวโดยไม่มีเหตุผลที่เหมาะสม ท่านอาจถูกศาลบังคับให้ปรากฏตัว ถูกปรับเงินหรือต้องโทษจำคุกได้

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所

証人等整理票		平成	年	月	日
氏名	印	事件番号	年少第	号	
年齢	年号を○で囲んでください。 昭和 年 月 日生 (年) 大正 明治	事件名			
職業		少年氏名			
住居		備考			該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他 ()
旅費日当	いずれかを○で囲んでください。 請求する 請求しない				

- (注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。
 2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

แบบฟอร์มที่ 13 ใบเรียงลำดับพยานบุคคลต่าง ๆ

ศาลครอบครัว _____

ใบเรียงลำดับพยาน		วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____	
ชื่อ	ตราประทับ	หมายเลขคดี	ปี เลขที่
อายุ	เกิดวันที่ _____ เดือน _____ ปี _____ (_____ ปี)	ชื่อคดี	
		ชื่อผู้เยาว์	
อาชีพ			
ภูมิลำเนา			เขียนวงกลมล้อมรอบข้อความที่เกี่ยวข้อง
ค่าเดินทางและเบี่ยงเลี้ยง	เขียนวงกลมล้อมรอบข้อความที่ต้องการ	หมายเหตุ	ความที่เกี่ยวข้อง
	ขอเบิก ไม่ขอเบิก		พยาน ผู้อ้างอิง ลำม ผู้ชำนาญการพิเศษ อื่น ()

(ข้อควรระวัง)

- 1 ผู้มาปรากฏตัวกรณารอกข้อความในใบเรียงลำดับพยานแล้วยื่นต่อเจ้าหน้าที่ผู้เกี่ยวข้อง
- 2 ใบเรียงลำดับพยานนี้ ใช้เป็นเอกสารคำร้องสำหรับเบิกค่าเดินทางและเบี่ยงเลี้ยง หรือสละสิทธิ์ไม่เบิกค่าเดินทางและเบี่ยงเลี้ยงได้ ฉะนั้นกรณารอกข้อความให้ชัดเจน

宣 誓 書

良^り心^{ょう}に^{しん}従^{したが}って、ほんとうの^{もう}ことを申^{もう}します。

知^しっていることをかくしたり、無^ないことを

申^{もう}したりなど、決^{けつ}して致^{いた}しません。

以^い上^{じょう}のとおり誓^{ちか}います。

しやうにん

証 人

แบบฟอร์มที่ 14 หนังสือปฏิญาณตน

หนังสือปฏิญาณตน

ข้าพเจ้าขอสาบานว่าจะให้การตามความสัตย์จริงด้วยความซื่อสัตย์
และสุจริตใจ จะไม่ปิดบังในสิ่งที่ตนเองรู้ จะไม่พูดในสิ่งที่ตนเองไม่รู้
อย่างเด็ดขาด

พยาน _____

書式 15 通報の要請に関する照会

通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に関
するウィーン条約第 36 項第 1 項 (b) の規定に基づき、拘禁された事実を
の領事機関に通報することを要請することが
できます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発
することができます。

裁 判 所

回 答

通報することを 要請します。
 要請しません。

年 月 日

国 名

被拘禁者氏名

裁判所

御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

แบบฟอร์มที่ 15 ใบสอบถามความต้องการแจ้งเรื่องให้กงสุลรับทราบ

ใบสอบถามความต้องการแจ้งเรื่องให้กงสุลรับทราบ

ในฐานะที่ท่านเป็นพลเมืองสัญชาติ _____ ตามมาตรา 36 วรรค 1 (b) แห่ง
สนธิสัญญากรุงเวียนนาว่าด้วยความสัมพันธ์ทางกงสุล คุณมีสิทธิเรียกร้องขอให้แจ้งเรื่องให้
สถานกงสุล _____ รับทราบว่า คุณได้ถูกคุมขังอยู่

โปรดกรอกข้อความในแบบสอบถามนี้ว่าต้องการให้แจ้งเรื่องไปหรือไม่

อนึ่ง คุณอาจส่งจดหมายไปยังสถานกงสุลที่เกี่ยวข้อง トラบใดที่ไม่เป็นการละเมิด
กฎหมายของประเทศญี่ปุ่น

ศาล _____

คำตอบ

ข้าพเจ้า

ต้องการให้แจ้งเรื่องไป

ไม่ต้องการให้แจ้งเรื่องไป

วันที่ _____ เดือน _____ ปี _____

ชื่อประเทศ _____

ชื่อผู้ถูกคุมขัง _____

เรียน ศาล _____

(หมายเหตุ) ให้ขีดฆ่าข้อความที่ไม่ต้องการ

第4編 用語の対訳

第1 法律関係用語

[あ行]	[あ行]
アリバイ	การอ้างที่อยู่เป็นข้อแก้ตัว
異議審	การพิจารณาค่าคัดค้าน
異議申立て	การขอยื่นคำคัดค้าน
意見聴取	การสอบถามความคิดเห็น
意見陳述	คำให้การแสดงความคิดเห็น
移送	โอนคดี
移送決定	พิพากษาสั่งโอนคดี
一時停止	การหยุดชั่วคราว
一事不再理の効力	อำนาจในการไม่รับฟ้องซ้ำคดีอาญาที่ถูกศาลตัดสินแล้ว
一般事件	คดีทั่วไป
一般遵守事項	ข้อกำหนดที่ต้องปฏิบัติตามทั่วไป
一般短期処遇	การลงโทษระยะสั้นทั่วไป
一般保護観察	การควบคุมความประพฤติทั่วไป
一般保護事件	คดีควบคุมความประพฤติทั่วไป
居直り強盜	การปล้นทรัพย์ซึ่งหน้าซึ่งเริ่มจากการลอบเข้ามาโจรกรรมแล้ว
違法収集証拠	เจ้าทรัพย์มาพบเข้า
違法性	พยานหลักฐานที่ได้มาอย่างผิดกฎหมาย
違法性阻却事由	ผิดกฎหมาย, ทุจริต
院外委嘱指導	เหตุผลหรือข้ออ้างที่นำมาลบล้างความผิด
因果関係	การแนะนำโดยการฝากนอกสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์
淫行	เหตุและผล
引致	การทำอนาจาร
引致状	การนำตัวไปยังสถานที่ที่กำหนด
インテーク	หมายนำตัว, หมายจับ
インテーク基準	การสัมภาษณ์ผู้มาขอคำปรึกษาเป็นครั้งแรกโดยมีวัตถุประสงค์
営利の目的	เพื่อรับรู้ปัญหาอย่างชัดเจนเพื่อจะได้ให้ความช่วยเหลือได้อย่าง
閲覧	เต็มที่
援助	หลักเกณฑ์ของการสัมภาษณ์ผู้มาขอคำปรึกษาเป็นครั้งแรกโดย
	มีวัตถุประสงค์เพื่อรับรู้ปัญหาอย่างชัดเจนเพื่อจะได้ให้ความ
	ช่วยเหลือได้อย่างเต็มที่ที่วิธีการแยกแนวทางพิจารณาคดีโดยดู
	จากเนื้อเรื่องของคดี
	เจตนาแสวงหาผลประโยชน์
	การดู, การตรวจสอบเอกสารต่าง ๆ
	การช่วยเหลือ

押印	การประทับตรา
押収	การยึดของกลาง
押収物	สิ่งที่ถูกยึดเป็นของกลาง
[か・行]	[か・行]
蓋然的心証	ความเชื่อมั่นอย่างแรงกล้าว่ามีความเป็นไปได้
回避	การหลบหลีก
回付	การส่งเวียน
開放的な処遇	การลงโทษโดยจำกัดบริเวณเฉพาะเวลากลางคืน
確信の程度の心証	ความเชื่อในระดับที่สามารถมั่นใจได้
確信犯	การก่ออาชญากรรมเนื่องจากความเชื่อบางอย่าง
覚せい剤	ยากระตุ้นประสาท
過失	การประมาท
過失犯	การกระทำความผิดโดยประมาท
過剰避難	การหลบหลีกเกินกว่าเหตุ
過剰防衛	การป้องกันตัวเกินกว่าเหตุ
学校照会	การสอบถามทางโรงเรียน
学校照会書	หนังสือสอบถามทางโรงเรียน
仮釈放	การปล่อยตัวก่อนครบกำหนดโดยมีเงื่อนไขว่าต้องประพฤติตัวดี อย่างต่อเนื่อง
仮收容	การกักกันตัวชั่วคราว
仮退院	การออกจากสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ก่อนครบกำหนด โดยมีเงื่อนไขว่าต้องประพฤติตัวดีอย่างต่อเนื่อง
簡易送致	การส่งตัวแบบรวบรัด
簡易の呼出	การเรียกตัวแบบรวบรัด
管轄	เขตอำนาจรับผิดชอบ
環境調整	การปรับสภาวะแวดล้อม
環境調整の措置	มาตรการปรับสภาวะแวดล้อม
環境調整命令	คำสั่งให้ปรับสภาวะแวดล้อม
勧告	การแนะนำ, การให้คำปรึกษา
観護措置	มาตรการควบคุมดูแล
観護措置決定	การพิพากษาให้ใช้มาตรการดูแล
観護令状	หมายสั่งให้ควบคุมดูแล
観察	การสังเกต
鑑定	การตรวจสอบพิสูจน์โดยผู้ชำนาญการ
鑑定人	ผู้ชำนาญการพิเศษในการตรวจสอบพิสูจน์

鑑定留置	การกักกันตัวตามคำสั่งศาลเพื่อให้ผู้ชำนาญการพิเศษตรวจสอบ
還付	การคืนของที่ยึดไว้เป็นของกลาง
鑑別結果	ผลของการตรวจสอบโดยผู้ชำนาญการพิเศษ
鑑別結果通知書	หนังสือแจ้งผลการตรวจสอบของผู้ชำนาญการพิเศษ
期間	ระยะเวลา
棄却	การยกฟ้อง
危険性の予測	การคาดคะเนความอันตราย
期日	กำหนดวันนัดขึ้นศาล
既遂	ความผิดบรรลุผล
偽造	การปลอมแปลง
既判力	อำนาจระงับการฟ้องคดีซ้ำ
忌避	การคัดค้านผู้พิพากษาหรือเจ้าหน้าที่ศาล
却下	การยกฟ้อง, ปฏิเสธรับคำร้อง
凶悪犯	ความผิดอุกฉกรรจ์
教科教育	การศึกษาในตำรา
教科指導	การแนะนำหรือสั่งเรียน
凶器	อาวุธ
教唆	การยุยง, ส่งเสริมให้ผู้อื่นกระทำความผิด
矯正教育	การอบรมตัดนิสัย
強制送還	การเนรเทศกลับประเทศ
強制退去	การบังคับส่งออกนอกประเทศ
強制調査	การตรวจสอบแบบบังคับ
強制的措置	มาตรการบังคับ
強制的措置許可決定	การพิพากษาอนุมัติให้ใช้มาตรการบังคับ
強制的措置不許可決定	การพิพากษาไม่อนุมัติให้ใช้มาตรการบังคับ
共犯	การมีส่วนร่วมเกี่ยวกับการกระทำความผิด
共犯者	ผู้ที่มีส่วนร่วมเกี่ยวกับการกระทำความผิด
共謀	การสมรู้ร่วมคิดหรือปรึกษาหารือกันก่อนที่จะลงมือกระทำ ความผิด
協力	การให้ความร่วมมือ
居所	ที่พักอาศัย
緊急同行状	หมายสั่งให้เดินทางพร้อมเจ้าหน้าที่โดยด่วน
緊急避難	การอพยพฉุกเฉิน
禁制品	สิ่งของผิดกฎหมาย
国親	รัฐประดุงพ่อแม่
国親思想	หลักการรัฐประดุงพ่อแม่ (Parens Patriae)

◁ 犯	ความผิดทางอาญาที่มีโอกาสเกิดขึ้น
◁ 犯事由	มูลเหตุที่ทำให้ผู้เยาว์มีโอกาสกระทำความผิดทางอาญา
◁ 犯少年	ผู้เยาว์ที่มีโอกาสกระทำความผิดทางอาญา
◁ 犯性	ลักษณะโอกาสที่ทำให้ผู้เยาว์กระทำความผิดทางอาญา
訓戒	อบรมตักเตือน
刑事事件	คดีอาญา
刑事施設	สถานที่กักกันคดีอาญา
刑事処分相当	การลงโทษเทียบเท่าคดีอาญา
刑事責任年齢	อายุที่ต้องรับผิดชอบในคดีอาญา
軽微事件	คดีลหุโทษ
刑法犯	ความผิดทางกฎหมายอาญา
決定	การพิพากษา, การตัดสิน
決定書	คำพิพากษา
決定書の送達	การส่งคำพิพากษา
決定の執行	การดำเนินการตามคำพิพากษา
決定の通知	การแจ้งคำพิพากษา
検察官関与決定	การพิพากษาให้พนักงานอัยการมีส่วนร่วมด้วย
検察官送致決定	การพิพากษาส่งคดีไปให้พนักงานอัยการ
検証	การตรวจสอบหลักฐานโดยศาลหรือพนักงานสอบสวน
故意	เจตนา, จงใจ
合議体	องค์คณะผู้พิพากษาที่โดยปกติแล้วจะประกอบด้วยผู้พิพากษา 3 คน และเจ้าหน้าที่ศาล 6 คน
公共の福祉	สวัสดิการสาธารณะ
拘禁	การกักขัง
後見人	ผู้อนุบาล, ผู้ปกครอง
抗告	การยื่นอุทธรณ์
抗告受理決定	การพิพากษาให้รับคำอุทธรณ์
抗告受理の申立て	การร้องขอให้รับคำอุทธรณ์
抗告審	การพิจารณาอุทธรณ์
抗告の趣意	ประเด็นอุทธรณ์
抗告の申立て	การยื่นอุทธรณ์
抗告の申立書	คำยื่นอุทธรณ์
抗告不受理決定	การพิพากษาไม่รับคำร้องอุทธรณ์
更新	การต่ออายุ
更新決定	การพิพากษาให้ต่ออายุ
更生	การกลับตัว, การกลับคืนสู่สังคม

更正	การแก้ไขให้ถูกต้อง
更正決定	การพิพากษาให้แก้ไขให้ถูกต้อง
公訴	การฟ้องโดยพนักงานอัยการ
公訴の提起	การส่งฟ้องโดยพนักงานอัยการ
交通事件	คดีเกี่ยวกับการจราจร
交通切符	ใบสั่งคดีจราจร
交通切符制度	ระบบใบสั่งคดีจราจร
交通短期保護観察	การควบคุมความประพฤติระยะสั้นเกี่ยวกับการจราจร
交通反則通告制度	ระบบแจ้งเรื่องการฝ่าฝืนกฎหมายจราจร
交通保護観察	การควบคุมความประพฤติเกี่ยวกับการจราจร
勾留	การกักขัง
勾留状	หมายสั่งให้กักขัง
勾留に代わる観護措置	มาตรฐานควบคุมดูแลการกักขัง
勾留理由開示	การแจ้งเหตุของการกักขัง
国籍	สัญชาติ
国選付添人	ผู้ติดตามที่ศาลเลือกให้
国選弁護人	ทนายที่ศาลเลือกให้
告知	การแจ้งให้ทราบ
告知調書	ใบตรวจสอบที่แจ้งให้ทราบ
	(กฎหมายวิธีพิจารณาคดีอาญาผู้เยาว์มาตราที่ 24 วรรค 2)
国法上の裁判所	ศาลตามกฎหมายรัฐ
国家賠償	การชดเชยค่าเสียหายโดยรัฐ
個別処遇の原則	หลักการพื้นฐานสำหรับลงโทษตามกรณี
[さ行]	[さ行]
在院者	ผู้ที่อยู่ในสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์
再抗告	การอุทธรณ์ซ้ำ
再審	การพิจารณาซ้ำ
在宅鑑別	การตรวจสอบโดยผู้ชำนาญการ ณ ที่พักอาศัย
裁判官の回避	การหลบหลีกผู้พิพากษา
裁判権	อำนาจศาล
裁判長	หัวหน้าผู้พิพากษา
酒酔い	มีนเมาสุรา
差戻し	การยกเลิกคำตัดสินของศาลชั้นก่อนหน้าและคืนคดีให้ศาลชั้นก่อนหน้าพิจารณาใหม่
差戻後の審判	การพิพากษาคดีหลังจากที่ส่งกลับมาให้พิจารณาใหม่

参考人	บุคคลที่เห็นเหตุการณ์หรืออาจจะเกี่ยวข้องกับคดี
事案輕微	ความลหุโทษของคดี
死刑	โทษประหารชีวิต
試験觀察	การสังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ
試験觀察決定	การพิพากษาให้สังเกตพฤติกรรมแบบทดสอบ
事件記録	การบันทึกคดี
事件の再起	การเกิดซ้ำของคดี
事件の調査	การตรวจสอบคดี
事後審	การพิจารณาคดีในศาลชั้นสูงขึ้นไปโดยใช้หลักฐานพยานเดียวกับศาลชั้นก่อนหน้า
事實審理の結果	ผลของการพิจารณาคดีในศาลชั้นสูงขึ้นไปโดยใช้หลักฐานพยานเดียวกับศาลชั้นก่อนหน้า
自首	การมอบตัว
施設送致申請	การร้องขอให้ส่งตัวเข้าสถานกักกัน
施設送致申請事件	คดีที่ร้องขอให้ส่งตัวเข้าสถานกักกัน
私選付添人	ผู้ติดตามที่เลือกเอง
執行	การปฏิบัติการ
執行機關	หน่วยงานที่ปฏิบัติการ
執行指揮	การสั่งให้ปฏิบัติการ
執行指揮書	หนังสือคำสั่งให้ปฏิบัติการ
執行のための同行状	หมายเบิกตัวเพื่อปฏิบัติการ
執行の停止	การหยุดปฏิบัติการ
指導監督	ผู้ควบคุมการฝึกอบรม
児童自立支援施設送致決定	การพิพากษาให้ส่งตัวเข้าสถานให้ความช่วยเหลือผู้เยาว์เพื่อให้สามารถดำรงชีวิตด้วยตนเองได้
児童相談所長への送致決定	การพิพากษาสั่งให้ไปพบหัวหน้าศูนย์ให้คำปรึกษาเด็กและเยาวชน
児童養護施設送致決定	การพิพากษาให้ส่งตัวเข้าสถานอุปการะดูแลผู้เยาว์
自白	การรับสารภาพ
司法	กฎหมายตุลาการ
司法的機能	อำนาจหน้าที่ของกฎหมายตุลาการ
社会記録	การบันทึกข้อเท็จจริงของสังคม
社会貢献活動	กิจกรรมอุทิศตนเพื่อสังคม
社会資源	ทรัพยากรทางสังคม
社会適応性	การปรับตัวให้เข้ากับสังคม
社会生活	การใช้ชีวิตในสังคม

社会内処遇	การลงโทษภายในสังคม
社会調査	การสำรวจทางสังคม
社会防衛	การป้องกันตัวทางสังคม
社会防衛思想	ความคิดเกี่ยวกับการป้องกันตัวทางสังคม
終局処分	การลงโทษครั้งสุดท้าย
住居	ภูมิลำเนา
住所	ที่อยู่
自由心証主義	หลักการที่ให้อำนาจผู้พิพากษาพิจารณาความถูกต้องเหมาะสม ของพยานหลักฐานตามวิจารณ์ญาณของผู้พิพากษา
重大な事実誤認	การรับรู้ข้อเท็จจริงผิดอย่างใหญ่หลวง
集団講習	การอบรมหมู่
集団処遇	การลงโทษหมู่
收容区分	การแบ่งเขตกักขัง
收容継続	การให้กักขังต่อเนื่อง
收容継続決定	การพิพากษาให้กักขังต่อเนื่อง
收容継続申請	การยื่นคำร้องให้กักขังต่อเนื่อง
收容継続申請事件	คดียื่นคำร้องให้กักขังต่อเนื่อง
受命裁判官	ผู้พิพากษาเจ้าของคดี
準抗告	คำร้องจากผู้เกี่ยวข้องที่ไม่พอใจต่อคำตัดสินของศาล
遵守事項	ข้อกำหนดให้ปฏิบัติตาม
遵守事項違反	กระทำผิดฝ่าฝืนข้อกำหนดให้ปฏิบัติตาม
準少年保護事件	คดีควบคุมความประพฤติผู้เยาว์
証言	คำให้การ
証拠	พยานหลักฐาน
証拠調べ	การตรวจสอบพยานหลักฐาน
証拠法則	กฎเกี่ยวกับพยานหลักฐาน
小舎制	ระบบควบคุมตัวผู้เยาว์จำนวนไม่เกิน 12 คนไว้ในสถานที่ เดียวกัน
証人	พยาน
証人尋問	การไต่สวนพยาน
証人尋問権	อำนาจไต่สวนพยาน
証人等の費用	ค่าใช้จ่ายเกี่ยวกับพยาน
少年	ผู้เยาว์, เยาวชน, เด็ก
少年院送致	การส่งตัวเข้าสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์
少年院送致決定	การพิพากษาให้ส่งตัวเข้าสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์
少年鑑別所收容の一時継続	การต่อระยะเวลาชั่วคราวให้อยู่ในสถานกักกันเพื่อพิสูจน์ผู้เยาว์

少年審判	การพิพากษาความอาญาผู้เยาว์
少年審判手續	ขั้นตอนการพิจารณาความอาญาผู้เยาว์
少年調査記録	บันทึกการตรวจสอบผู้เยาว์
少年調査票	ใบตรวจสอบผู้เยาว์
少年の刑事事件	คดีอาญาผู้เยาว์
少年の健全な育成	การเติบโตอย่างสมบูรณ์ของผู้เยาว์
少年の保護事件	คดีควบคุมความประพฤติผู้เยาว์
少年非行	การกระทำผิดของผู้เยาว์
少年保護事件	คดีควบคุมความประพฤติผู้เยาว์
少年補償	การชดเชยเกี่ยวกับผู้เยาว์
少年補償事件	คดีชดเชยเกี่ยวกับผู้เยาว์
抄本	สำเนาย่อ
証明書	ใบรับรอง
処遇勧告	คำแนะนำการลงโทษ
職業指導	การแนะแนวอาชีพ
職業補導	การช่วยฝึกอบรมอาชีพ
職権主義	หลักการมอบอำนาจแต่ละประเภทในขั้นตอนของการฟ้องร้อง ไปรวมศูนย์ที่ศาล
職権主義的審問構造	โครงสร้างการไต่สวนของหลักการมอบอำนาจแต่ละประเภทใน ขั้นตอนของการฟ้องร้องไปรวมศูนย์ที่ศาล
触法少年	ผู้เยาว์ที่กระทำผิดตามกฎหมาย
所在不明	ที่อยู่ไม่แน่ชัด
除斥	การห้ามใช้อำนาจในระยะเวลาที่กำหนด
処断刑	บทลงโทษตามคำสั่งศาล
処分の著しい不当	การลงโทษที่ไม่เหมาะสมอย่างชัดเจน
親権	สิทธิผู้ปกครอง, สิทธิในการเลี้ยงดูบุตร
親権行使	การใช้สิทธิผู้ปกครอง, สิทธิในการเลี้ยงดูบุตร
親権尊重	การเคารพสิทธิผู้ปกครอง, สิทธิในการเลี้ยงดูบุตร
人権尊重	การเคารพสิทธิมนุษยชน
人権保護	การคุ้มครองสิทธิมนุษยชน
人権保障	การประกันสิทธิมนุษยชน
身上調査表	ตารางตรวจสอบประวัติ
心身鑑別	การตรวจสอบร่างกายและจิตใจโดยผู้ชำนาญการพิเศษ
身体の自由の拘束	การพันธนาการไม่ให้มีอิสรภาพทางร่างกาย
人定質問	การตั้งคำถามเพื่อยืนยันตัวบุคคล
審判	การพิจารณาคดี

審判開始決定	ตัดสินให้เริ่มพิจารณาคดี
審判權	อำนาจการพิจารณาคดี
審判不開始決定	ตัดสินไม่ให้เปิดการพิจารณาคดี
審判期日	วันพิจารณาคดี
審判期日通知書	ใบแจ้งวันพิจารณาคดี
審判結果通知	การแจ้งผลการพิจารณาคดี
審判条件	เงื่อนไขการพิจารณาคดี
審判狀況説明	การอธิบายสภาพการพิจารณาคดี
審判調書	ใบตรวจสอบการพิจารณาคดี
審判廷	ศาลพิจารณาคดี
審判に付すべき少年	ผู้เยาว์ที่สมควรถูกดำเนินการพิจารณาคดี
審判の併合	การรวมการพิจารณาคดี
審判非公開	การไม่เปิดเผยการพิจารณาคดี
審判傍聴	การเข้าร่วมฟังการพิจารณาคดี
性格の矯正	การอบรมตัดนิสัย
生活指導	การแนะนำการใช้ชีวิตประจำวัน
成人	ผู้บรรลุนิติภาวะ
正当防衛	การป้องกันตัวโดยชอบด้วยกฎหมาย
正本	ต้นฉบับ
責任	ความรับผิดชอบ
責任能力	ความสามารถในการรับผิดชอบ
接見交通權	สิทธิในการได้รับการเยี่ยม
接見の禁止	การระงับ สิทธิในการได้รับการเยี่ยม
接見の制限	การจำกัดสิทธิในการได้รับการเยี่ยม
宣誓	การปฏิญาณตน, การสาบานตน
専門的知識の活用	การใช้ความรู้เฉพาะด้าน
全件送致主義	หลักการว่าสำหรับผู้เยาว์จะต้องส่งเรื่องไปยังศาลครอบครัวทุกคดี
捜査	การสอบสวน
捜査機関	หน่วยงานสอบสวน
捜索	การสืบสวน
送致	การส่งเรื่อง
訴訟法上の裁判所	ศาลตามกฎหมายของการยื่นฟ้อง
粗暴犯	ความผิดเกี่ยวกับการกระทำความรุนแรง
損害	ความเสียหาย
損害賠償	การชดเชยค่าเสียหาย

[た行]

体育指導
退院
逮捕
知事への送致決定
中間少年
長期の処遇
調査
調査官
調査命令
調査報告書
直送事件
陳述録取書
陳述録取調書
通行禁止
通行区分
通告
通訳
通訳人
付添人
付添人の選任
連戻し
連戻状
適正手続
伝聞証拠
伝聞法則
同行
同行状
動向視察
謄写
謄本
道路交通事件
特別活動指導
特別遵守事項
特別法犯

[た行]

การแนะนำด้านพลศึกษา
การออกจากสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์
การจับกุม
การพิพากษาให้ส่งเรื่องไปยังผู้ว่าราชการจังหวัด
ผู้เยาว์อายุระดับกลาง
การลงโทษระยะยาว
การตรวจสอบ
เจ้าหน้าที่ตรวจสอบ
คำสั่งให้ตรวจสอบ
รายงานการตรวจสอบ
คดีส่งโดยตรง
หนังสือบันทึกคำให้การ
ใบตรวจสอบหนังสือบันทึกคำให้การ
การห้ามการติดต่อไปมาหาสู่
เขตการติดต่อไปมาหาสู่
ใบแจ้ง
ล่าม
ผู้เป็นล่าม
ผู้ติดตาม
การเลือกผู้ติดตาม
การนำตัวกลับ
หมายสั่งให้นำตัวกลับ
ขั้นตอนที่เหมาะสม
พยานบอกเล่า
กฎเกี่ยวกับการบอกเล่า
การไปด้วยกัน
หมายตามตัว
การเฝ้าระวังความเคลื่อนไหว
สำเนา
สำเนาที่คัดจากต้นฉบับทั้งหมด
คดีเกี่ยวกับการจราจรบนถนน
การเริ่มดำเนินการกิจกรรมพิเศษ
ข้อกำหนดให้ปฏิบัติตามพิเศษ
คดีอาญาพิเศษ

[な行]

任意調査

任意同行

年少少年

年長少年

年齢超過

[は行]

犯罪

犯罪少年

犯罪の嫌疑

反対尋問

反対尋問権

被害者

被害者調査

非行

非行事実

非行事実存在の蓋然性

非行事実の告知

非行事実の認否

非行性

非行なし

非常上告

否認

否認事件

秘密性

不告不理の原則

不処分

不処分決定

不定期刑

不服申立て

不利益変更禁止

分類処遇

併合審判

[な行]

การถูกตรวจสอบด้วยความสมัครใจ

การไปพร้อมกันด้วยความสมัครใจ

ผู้เยาว์ที่มีอายุน้อย

ผู้เยาว์ที่มีอายุมาก

อายุเกิน

[は行]

การกระทำผิดกฎหมาย

ผู้เยาว์ที่กระทำผิดกฎหมาย

การต้องสงสัยเกี่ยวกับการกระทำผิดกฎหมาย

การซักถามพยานของคุณความ, การซักค้าน

สิทธิการซักถามพยานของคุณความ, สิทธิการซักค้าน

บุคคลที่เสียหาย, เจ้าทุกข์

การตรวจสอบเจ้าทุกข์

การกระทำผิด

ข้อเท็จจริงของการกระทำผิด

ความน่าจะมีข้อเท็จจริงของการกระทำผิด

การแจ้งให้ทราบข้อเท็จจริงของการกระทำผิด

การยอมรับหรือปฏิเสธข้อเท็จจริงของการกระทำผิด

ลักษณะที่จะเป็นการกระทำผิด

ไม่มีลักษณะที่จะเป็นการกระทำผิด

พนักงานอัยการฟ้องโดยอ้างว่าการพิจารณาคดีผิดกฎหมายหลัง

คำพิพากษา

การไม่ยอมรับ, ปฏิเสธ

คดีที่ไม่ยอมรับ

ลักษณะที่เป็นความลับ

หลักการที่ว่าถ้าพนักงานอัยการไม่ส่งฟ้องศาลจะไม่มีสิทธิ

พิจารณาคดี

การไม่ลงโทษ

การพิพากษาไม่ลงโทษ

บทลงโทษที่ไม่ได้กำหนดระยะเวลาแน่ชัด

คำร้องคัดค้าน, คำอุทธรณ์

การห้ามเปลี่ยนแปลงในทางเสียเปรียบ

การลงโทษแยกประเภท

การพิจารณาคดีรวม

弁解	การแก้ความ
弁解の聴取	การรับฟังคำแก้ความ
変更の申出	คำร้องขอเปลี่ยนแปลง
弁護士	ทนายความ
弁護人	ทนายจำเลย
保安処分	บทลงโทษโดยมีการรักษาหรือปรับปรุงเพื่อกำจัดสาเหตุของ การก่อเหตุสำหรับผู้กระทำผิดหรือผู้ที่มีลักษณะที่จะดำเนิน พฤติกรรมที่อันตรายได้
報告	การรายงาน
法廷遵守事項	ข้อกำหนดตามกฎหมายที่ต้องปฏิบัติตาม
法定代理人	ตัวแทนตามกฎหมาย
法的調査	การตรวจสอบทางกฎหมาย
法律記録	บันทึกที่มีผลทางกฎหมาย
保護觀察	การควบคุมความประพฤติ
保護者	ผู้ปกครอง
保護処分	การลงโทษให้ควบคุมความประพฤติ
保護処分取消決定	การพิพากษาให้ยกเลิกโทษควบคุมความประพฤติ
保護処分取消事件	คดีที่พิพากษาให้ยกเลิกโทษควบคุมความประพฤติ
保護処分の競合	การประเมินผลซ้ำของโทษควบคุมความประพฤติ
保護処分の取消し	การยกเลิกโทษควบคุมความประพฤติ
教育的措置(保護的措置)	มาตรการในการฝึกอบรม (มาตรการควบคุมความประพฤติ)
没取	การยึด
没取決定	การพิพากษาให้ยึด
没取に係る物の返付	การคืนสิ่งของที่ถูกยึด
補充捜査	การสอบสวนเพิ่มเติม
補償の払渡し	การจ่ายเงินค่าเสียหาย
補導委託	การฝากให้ฝึกอบรม
補導委託先	สถานที่ฝากให้ฝึกอบรม
補導委託費	ค่าใช้จ่ายในการฝากฝึกอบรม
補導援護	ความช่วยเหลือในระหว่างฝึกอบรม
本籍照会	การสอบถามถิ่นที่อยู่
本籍照会書	ใบสอบถามถิ่นที่อยู่
翻訳	การแปลเอกสาร
翻訳人	ผู้แปลเอกสาร

[ま行]

身柄付送致
みなし勾留
無職の者
無断外出
面前告知
申出
申出人
黙秘権
黙秘権の告知
戻し收容
戻し收容決定
戻し收容処分
戻し收容申請事件

[や行]

有職の者
有責性
要保護性
余罪
余罪捜査
呼出
呼出状

[ら行]

留置施設
労役場留置

[ま行]

การส่งเรื่องพร้อมผู้ต้องหา
การกักขัง
ผู้ที่ไม่ม้อาชีพ
การออกไปข้างนอกโดยไม่ได้รับอนุญาต
การแจ้งให้ทราบต่อหน้า
การยื่นคำร้อง
ผู้ยื่นคำร้อง
สิทธิที่จะเงียบไม่ให้การใด ๆ
การแจ้งให้ทราบถึงสิทธิที่จะเงียบไม่ให้การใด ๆ
การนำกลับที่คุมขัง
การพิพากษาให้นำกลับที่คุมขัง
การลงโทษโดยให้นำกลับที่คุมขัง
คดีที่ร้องขอให้นำกลับที่คุมขัง

[や行]

ผู้ที่มีอาชีพ
ลักษณะที่มีต้องรับผิดชอบตามกฎหมาย
ลักษณะที่ต้องรับการควบคุมความประพฤติ
ความผิดอื่น ๆ นอกเหนือจากความผิดที่ถูกกล่าวหา
การสอบสวนความผิดอื่น ๆ นอกเหนือจากความผิดที่ถูกกล่าวหา
เรียก
หมายเรียก

[ら行]

สถานที่คุมขัง
การคุมขังในเรือนจำที่บังคับให้ทำงาน

第 2 調査関係用語

[あ行]

家出

居心地

遺伝

姻族

[あ行]

การหนีออกจากบ้าน

ความรู้สึกที่มีต่อที่อยู่

กรรมพันธุ์

ญาติทางกฎหมาย

[か行]

カウンセリング

家族関係

家長

家庭内暴力

義務教育

虐待

血族

高等学校(高校)

行動傾向

公立

危険ドラッグ(脱法ハーブ)

[か行]

การรับคำแนะนำจากจิตแพทย์

ความสัมพันธ์ภายในครอบครัว

หัวหน้าครอบครัว

การใช้ความรุนแรงในครอบครัว

การศึกษาภาคบังคับ

การกระทำทารุณโหดร้าย

ญาติทางสายเลือด, สืบสายเลือด

โรงเรียนชั้นมัธยมปลาย

แนวโน้มการกระทำ

ของรัฐบาล

ยาเสพติดอันตราย

(ที่เกิดจากการนำัญชาหรือฝิ่นไปผ่านกรรมวิธีทางเคมี)

[さ行]

しつけ

社会奉仕活動

照会書

小学校

上司

職種

私立

信条

親族

心理テスト

住込み

生活史

生活費

[さ行]

การอบรมให้มีวินัย

กิจกรรมบำเพ็ญประโยชน์ต่อสังคม

หนังสือสอบถามข้อมูล

โรงเรียนชั้นประถม

ผู้บังคับบัญชา

ลักษณะอาชีพ

ของเอกชน

ลัทธิความเชื่อ

ญาติ

การทดสอบทางจิตใจ

การกินอยู่ในบ้านผู้ว่าจ้าง

ประวัติความเป็นมาของชีวิต

ค่าใช้จ่ายประจำวัน

成績
性的虐待
生理
専門学校
送金
相談相手

ผลการเรียน
การกระทำทารุณทางเพศ
ประจำเดือน, เมนส์
โรงเรียนอาชีวศึกษา, ฝึกสอนอาชีพ
การส่งเงิน
ผู้ให้คำปรึกษา

[た行]

退学
大学
怠休
短所
中学校
長所
通勤
手続
手取り
転居
転校
転職
動機
同棲
同僚
特技

[た行]

การลาออกจากโรงเรียน
มหาวิทยาลัย
การหยุดเพราะความเกียจคร้าน
ปมด้อย, ข้อบกพร่อง
โรงเรียนมัธยมต้น
ปมเด่น, หัวหน้าศูนย์
การไปทำงาน
วิธีการ, ขั้นตอน
เงินรายได้สุทธิ
การย้ายที่อยู่
การย้ายโรงเรียน
การเปลี่ยนงาน
เหตุผลใจ, เหตุจูงใจ
การอยู่กินด้วยกัน
เพื่อนร่วมงาน
ความสามารถพิเศษ

[な行]

仲
肉体関係
入学

[な行]

ความสัมพันธ์
มีความสัมพันธ์ทางเพศ
การเข้าโรงเรียน

[は行]

配偶者
背景
売春
父系
不純異性交遊

[は行]

คู่สมรส
ประวัติเบื้องหลัง
โสเภณี
ฝ่ายพ่อ
การคบกับเพื่อนต่างเพศในทางไม่บริสุทธิ์

扶養	การอุปการะ
扶養家族	ครอบครัวที่ให้การอุปการะ
保育所	สถานที่ดูแลเด็ก
母系	ฝ่ายแม่
[ま行]	[ま行]
身元引受人	ผู้ให้การรับรอง
面接	การสัมภาษณ์
[や行]	[や行]
役割	หน้าที่
幼少	เยาว์วัย
幼稚園	โรงเรียนอนุบาล
[ら行]	[ら行]
離婚	การหย่าร้าง
労働条件	เงื่อนไขการทำงาน

第 3 官庁等諸機関名

[あ行]

医務室
医務室技官
受付

[あ行]

ห้องพยาบาล
เจ้าหน้าที่ประจำห้องพยาบาล
ประชาสัมพันธ์

[か行]

海上保安庁
外務省
科学調査室
家庭裁判所
家庭裁判所支部
家庭裁判所調査官(調査官)
家庭裁判所調査官室
簡易裁判所
矯正管区
矯正管区長
矯正局
区
区検察庁
警察
警察官
警察署
警察職員
警察署の保護室
警察庁
警察庁次長
警察庁長官
警視
警視監
警視正
警視総監
警視庁
警視長
警部

[か行]

หน่วยรักษาความปลอดภัยทางทะเล
กระทรวงต่างประเทศ
ห้องตรวจสอบเชิงวิทยาศาสตร์
ศาลครอบครัว
ศาลครอบครัวประจำแขวง
เจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัว (เจ้าหน้าที่ตรวจสอบ)
ห้องเจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัว
ศาลแขวง, ศาลชั้นต้น (Summary Court)
เขตตัดสินัย
ผู้รับผิดชอบเขตตัดสินัย
ฝ่ายตัดสินัย
เขต
สำนักงานอัยการเขต
ตำรวจ
เจ้าหน้าที่ตำรวจ
สถานีตำรวจ, โรงพัก
เจ้าหน้าที่พนักงานตำรวจ
ห้องควบคุมความประพฤติในสถานีตำรวจ
กรมตำรวจ
รองอธิบดีกรมตำรวจ
อธิบดีกรมตำรวจ
ผู้กำกับการตำรวจนครบาล
ผู้บังคับการตำรวจนครบาล
ผู้บังคับกองตำรวจนครบาล
ผู้บัญชาการกองตำรวจนครบาล
กองบัญชาการตำรวจนครบาล
ผู้กำกับการใหญ่
สารวัตรสอบสวน

警部補	ผู้ช่วยสารวัตรสอบสวน
刑務官	เจ้าหน้าที่ราชทัณฑ์
刑務所	เรือนจำ,คุก
刑務所長	ผู้บัญชาการเรือนจำ
県	จังหวัด
県警察本部	กองกำกับการตำรวจประจำจังหวัด
検察	อัยการ
検察官	พนักงานอัยการ
検察事務官	พนักงานสำนักงานอัยการ
検察庁	กรมอัยการ
検事	อัยการ
検事正	อัยการใหญ่ประจำเขต
検事総長	ผู้บัญชาการกรมอัยการ
検事長	หัวหน้าอัยการ
公使	ราชทูต
厚生労働省	กระทรวงสาธารณสุขและแรงงาน
更正保護会	สมาคมช่วยเหลือดูแลให้ผู้กระทำผิดกลับเข้าสู่สังคมภายหลัง จากการได้รับการปลดปล่อย
更正保護婦人会	สมาคมสตรีช่วยเหลือดูแลให้ผู้กระทำผิดกลับเข้าสู่สังคม ภายหลังจากการได้รับการปลดปล่อย
拘留所	ที่คุมขัง
高等検察庁	กรมอัยการอุทธรณ์
高等裁判所	ศาลอุทธรณ์
高等裁判所長官	อธิบดีศาลอุทธรณ์
[さ行]	[さ行]
最高検察庁	กรมอัยการฎีกา
最高裁判所	ศาลฎีกา
最高裁判所長官	อธิบดีศาลฎีกา
最高裁判所裁判官	ผู้พิพากษาศาลฎีกา
裁判官	ผู้พิพากษา
裁判所事務官	เจ้าหน้าที่ธุรการศาล
裁判所書記官	เจ้าหน้าที่นิติกรศาล
裁判長	หัวหน้าผู้พิพากษา
市	เมือง
次長検事	รองอธิบดีกรมอัยการ

児童委員
児童自立支援施設

児童相談所
児童相談所長
児童福祉司
児童養護施設
司法警察員
司法警察職員
司法巡查

巡查
巡查長
巡查部長
少年院
少年鑑別所
少年刑務所
書記官室
人権擁護局
審判官
審判廷
税関

[た行]

第1種少年院
大使
大使館
第3種少年院
第2種少年院
第4種少年院
知事(都道府県知事)
地方検察庁
地方検察庁支部
地方更正保護委員会
地方裁判所
地方裁判所支部

คณะกรรมการเด็กและเยาวชน
สถานที่ให้ความช่วยเหลือในการดำรงชีวิตด้วยตนเองแก่เด็กและ
เยาวชน

ศูนย์ให้คำปรึกษาเด็กและเยาวชน
หน้าหน้าศูนย์ให้คำปรึกษาเด็กและเยาวชน
หัวหน้าสวัสดิการเด็กและเยาวชน
สถานที่อุปการะดูแลผู้เยาว์
ตำรวจมีอำนาจฝ่ายสอบสวน
เจ้าหน้าที่ในกรมตำรวจที่ทำงานให้ความร่วมมือกับอัยการ
ตำรวจสอบสวนชั้นประทวน
ตำรวจชั้นประทวน

จำตำรวจ
จำสืบเอกตำรวจ
สถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์
สถานพิสูจน์ผู้เยาว์
ทัณฑสถานเยาวชน
ห้องนิติกร
สำนักงานคุ้มครองสิทธิมนุษยชน
ผู้พิพากษา
เจ้าหน้าที่ห้องพิจารณาคดี
ด้านศุลกากร

[た行]

สถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ประเภทที่ 1
ทูต
สถานทูต
สถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ประเภทที่ 3
สถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ประเภทที่ 2
สถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์ประเภทที่ 4
ผู้ว่าราชการจังหวัด (ผู้ว่าราชการประจำจังหวัดต่าง ๆ)
สำนักงานอัยการเขต
สำนักงานอัยการแขวง
คณะกรรมการช่วยเหลือดูแลให้ผู้กระทำผิดกลับเข้าสู่สังคม
ประจำเขต
ศาลประจำเขต
ศาลแขวง

地方法務局
中央更正保護審査会

調査官(家庭裁判所調査官)

[な行]

入国管理局
入国管理事務所
入国管理局出張所
入国者収容所

[は行]

判事
判事補
福祉事務所
法務技官
法務教官
法務省
保護局
保護観察官
保護観察所
保護観察所長
保護区
保護司
補導委託先

[ら行]

領事
領事館

สำนักงานกฎหมายประจำเขต

คณะกรรมการพิจารณาความช่วยเหลือดูแลให้ผู้กระทำผิดกลับ
เข้าสู่สังคมส่วนกลาง

เจ้าหน้าที่ตรวจสอบ (เจ้าหน้าที่ตรวจสอบประจำศาลครอบครัว)

[な行]

กองตรวจคนเข้าเมือง
สำนักงานตรวจคนเข้าเมือง
ด่านตรวจคนเข้าเมือง
สถานกักกันคนเข้าเมือง

[は行]

ผู้พิพากษา
ผู้ช่วยผู้พิพากษา
สำนักงานสวัสดิการ
เจ้าหน้าที่ฝ่ายวิชาการประจำกระทรวงยุติธรรม
เจ้าหน้าที่ฝ่ายอบรมประจำกระทรวงยุติธรรม
กระทรวงยุติธรรม
กองควบคุมความประพฤติ
เจ้าหน้าที่ควบคุมความประพฤติ
ศูนย์ควบคุมความประพฤติ
หัวหน้าศูนย์ควบคุมความประพฤติ
เขตควบคุมความประพฤติ
เจ้าหน้าที่ควบคุมความประพฤติ
สถานที่ฝากให้ฝึกอบรมความประพฤติ

[ら行]

กงสุล
สถานกงสุล

第 4 法令名

[あ行]

あへん法

安保条約

(日本国とアメリカ合衆国との間の
相互協力及び安全保障条約)

医師法

意匠法

医療法

ウィーン条約

(領事関係に関するウィーン条約)

恩赦法

[か行]

外国為替及び外国貿易法

外国裁判所ノ囑託ニ因ル共助法

海上交通安全法

海上衝突予防法

覚せい剤取締法

家事事件手続規則

家事事件手続法

学校教育法

割賦販売法

火薬類取締法

関税定率法

関税法

警察官職務執行法

警察法

刑事訴訟規則

刑事訴訟費用等に関する法律

刑事訴訟法

刑事補償規則

刑事補償法

競馬法

[あ行]

กฎหมายฝิ่น

สนธิสัญญาว่าด้วยความร่วมมือและการรักษาความมั่นคง
(สนธิสัญญาที่ว่าด้วยความร่วมมือและการรักษาความมั่นคง
ระหว่างประเทศญี่ปุ่นและสหรัฐอเมริกา)

กฎหมายว่าด้วยการประกอบโรคศิลป์

กฎหมายคุ้มครองการออกแบบ

กฎหมายว่าด้วยการบำบัดโรคศิลป์

สนธิสัญญากรุงเวียนนา (สนธิสัญญากรุงเวียนนาที่ว่าด้วย
ความสัมพันธ์ทางกงสุล)

กฎหมายนิรโทษกรรม

[か行]

กฎหมายควบคุมปริวรรตเงินตราและการค้าระหว่างประเทศ

กฎหมายว่าด้วยการให้ความช่วยเหลือแก่ศาลต่างประเทศใน
การพิจารณาคดี

กฎหมายว่าด้วยความปลอดภัยในการจราจรทางทะเล

กฎหมายว่าด้วยการป้องกันอุบัติเหตุการปะทะชนทางทะเล

กฎหมายควบคุมยากระตุ้นประสาท

ข้อบังคับในการดำเนินการสะสางคดีครอบครัว

กฎหมายว่าด้วยการดำเนินการสะสางคดีครอบครัว

กฎหมายว่าด้วยการศึกษาในโรงเรียน

กฎหมายควบคุมการซื้อขายแบบผ่อนชำระ, แบบขายเชื่อ

กฎหมายควบคุมดินปืน

กฎหมายพิกัตศุลกากร

กฎหมายศุลกากร

กฎหมายว่าด้วยการปฏิบัติหน้าที่ของเจ้าหน้าที่ตำรวจ

กฎหมายตำรวจ

ข้อบังคับในการฟ้องร้องคดีอาญา

กฎหมายว่าด้วยค่าใช้จ่ายในการฟ้องร้องคดีอาญา

กฎหมายว่าด้วยการฟ้องร้องคดีอาญา

ข้อบังคับในการชดใช้ค่าเสียหายในคดีอาญา

กฎหมายว่าด้วยการชดใช้ค่าเสียหายในคดีอาญา

กฎหมายการแข่งขันม้า

軽犯罪法	กฎหมายว่าด้วยการกระทำผิดแบบลหุโทษ
刑法	กฎหมายอาญา
検察審査会法	กฎหมายแต่งตั้งคณะกรรมการตรวจสอบของพนักงานอัยการ
検察庁法	กฎหมายกรมอัยการ
憲法（日本国憲法）	รัฐธรรมนูญแห่งประเทศญี่ปุ่น
公害罪法（人の健康に係る公害 犯罪の処罰に関する法律）	กฎหมายว่าด้วยความผิดเกี่ยวกับมลพิษ (กฎหมายว่าด้วยบทลงโทษการกระทำผิดเกี่ยวกับมลพิษที่มี อันตรายต่อสุขภาพมนุษย์)
航空機の強取等の処罰に関する 法律	กฎหมายเกี่ยวกับการลงโทษต่อการจี้ ปล้นเครื่องบิน
航空の危険を生じさせる行為等の 処罰に関する法律	กฎหมายว่าด้วยบทลงโทษต่อการกระทำให้เกิดอันตรายต่าง ๆ ในสนามบิน
更生保護法	กฎหมายว่าด้วยการให้ความช่วยเหลือหรือแนะนำในการกลับ เข้าสู่สังคม
国際捜査共助法	กฎหมายว่าด้วยความร่วมมือระหว่างประเทศในการสอบสวน
国籍法	กฎหมายสัญชาติ
戸籍法	กฎหมายทะเบียนบ้าน
国家賠償法	กฎหมายว่าด้วยการชดเชยค่าเสียหายของรัฐ
[さ行]	[さ行]
裁判所法	กฎหมายศาล
酒に酔って公衆に迷惑をかける行 為の防止等に関する法律	กฎหมายว่าด้วยการป้องกันการก่อความรำคาญต่าง ๆ จากผู้อยู่ ในอาคารมีนเมาที่มีต่อสาธารณชน
自転車競技法	กฎหมายว่าด้วยการแข่งขันจักรยาน
児童買春,児童ポルノに係る行為 等の規制及び処罰並びに児童の 保護等に関する法律	กฎหมายว่าด้วยข้อกำหนดและบทลงโทษต่อพฤติกรรมที่ เกี่ยวข้องกับ การซื้อประเวณีผู้เยาว์หรือสื่อลามกอนาจารของ ผู้เยาว์ ตลอดจนการคุ้มครองผู้เยาว์ ฯลฯ
自動車の運転により人を死傷させ る行為等の処罰に関する法律	กฎหมายว่าด้วยบทลงโทษต่อพฤติกรรมที่ทำให้ผู้อื่นได้รับ บาดเจ็บหรือถึงแก่ความตายจากการขับซึ่รถยนต์
児童福祉法	กฎหมายสวัสดิภาพผู้เยาว์
銃砲刀剣類所持等取締法	กฎหมายควบคุมการครอบครองอาวุธปืนและดาบ
出入国管理及び難民認定法	กฎหมายควบคุมการเข้าออกเมืองและรับรองสถานภาพผู้อพยพ
少年院法	กฎหมายว่าด้วยสถานอบรมความประพฤติผู้เยาว์
少年鑑別所法	กฎหมายว่าด้วยสถานอบรมความประพฤติเยาวชน
少年審判規則	ข้อบังคับในการพิจารณาคดีผู้เยาว์
少年の保護事件に係る補償に関	ข้อบังคับในการชดเชยค่าเสียหายในคดีควบคุมความประพฤติ

する規則 (少年補償規則)	ผู้เยาว์ (ระเบียบการชดใช้ความเสียหายผู้เยาว์)
少年の保護事件に係る補償に関する法律 (少年補償法)	กฎหมายว่าด้วยการชดใช้ความเสียหายในคดีควบคุมความประพฤติผู้เยาว์ (กฎการชดใช้ความเสียหายผู้เยาว์)
少年法	กฎหมายผู้เยาว์
商法	กฎหมายพาณิชย์
職業安定法	กฎหมายคุ้มครองความมั่นคงของอาชีพ
人身保護法	กฎหมายว่าด้วยการควบคุมตัว
新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法	กฎหมายเกี่ยวกับมาตรการฉุกเฉินเพื่อรักษาความมั่นคงในสนามบินนานาชาติโตเกียวใหม่
森林法	กฎหมายป่าไม้
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	กฎหมายว่าด้วยสุขภาพจิตและสวัสดิการเกี่ยวกับบุคคลที่มีความผิดปกติทางสุขภาพจิต
船員法	กฎหมายว่าด้วยการเดินเรือ
船舶安全法	กฎหมายว่าด้วยความปลอดภัยทางเรือ
船舶職員法	กฎหมายว่าด้วยเจ้าหน้าที่ประจำเรือ
船舶法	กฎหมายว่าด้วยเรือ
組織犯罪処罰法 (組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律)	กฎหมายว่าด้วยการลงโทษความผิดที่ก่อโดยกลุ่มหรือองค์การ (เกี่ยวกับระเบียบการลงโทษในการก่อความผิดหรือองค์การเพื่อแสวงหาผลกำไรจากความผิดนั้น)
[た行]	[た行]
大麻取締法	กฎหมายควบคุมกัญชา
著作権法	กฎหมายลิขสิทธิ์
通貨及証券模造取締法	กฎหมายควบคุมการปลอมแปลงเงินตราและพันธบัตร
鉄道営業法	กฎหมายว่าด้วยการดำเนินกิจการรถไฟ
電気通信事業法	กฎหมายว่าด้วยกิจการโทรคมนาคม
電波法	กฎหมายว่าด้วยคลื่นวิทยุ
盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律	กฎหมายว่าด้วยการป้องกันและลงโทษความผิดฐานโจรกรรมชิงทรัพย์ ลักทรัพย์ และอื่น ๆ
逃亡犯罪人引渡法	กฎหมายว่าด้วยการส่งผู้ร้ายข้ามแดน
道路運送車両法	กฎหมายว่าด้วยการควบคุมการขนส่งบนท้องถนนโดยรถยนต์
道路交通法	กฎหมายจราจรบนท้องถนน
毒物及び劇物取締法	กฎหมายควบคุมยาพิษและสารมีพิษ

[な行]

日本国憲法

日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約（安保条約）

日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法

日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法

[は行]

売春防止法

破壊活動防止法

爆発物取締罰則

罰金等臨時措置法

犯罪捜査規範

犯罪捜査のための通信傍受に関する法律

犯罪被害者等給付金支給法

犯罪被害者等の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律

武器等製造法

法廷等の秩序維持に関する法律

暴力行為等処罰ニ関スル法律

保護司法

[な行]

รัฐธรรมนูญแห่งประเทศญี่ปุ่น

สนธิสัญญาว่าด้วยความร่วมมือและการรักษาความมั่นคงระหว่างประเทศญี่ปุ่นและสหรัฐอเมริกา (สนธิสัญญาการรักษาความมั่นคงระหว่างญี่ปุ่นและสหรัฐอเมริกา)

กฎหมายอาญาพิเศษเพื่อบังคับตามมาตราที่ 6 แห่งสนธิสัญญาว่าด้วยความร่วมมือและการรักษาความมั่นคงระหว่างประเทศญี่ปุ่นและประเทศสหรัฐอเมริกาและต่อหน่วยงานในท้องที่ซึ่งมีฐานทัพของประเทศสหรัฐอเมริกาที่ตั้งอยู่ในประเทศญี่ปุ่น

กฎหมายอาญาพิเศษว่าด้วยการปฏิบัติการตามข้อตกลงเกี่ยวกับสถานภาพของกองทัพอากาศในประเศญี่ปุ่น

[は行]

กฎหมายป้องกันและปราบปรามการค้าประเวณี

กฎหมายป้องกันและปราบปรามการกระทำอันเป็นการบ่อนทำลาย

กฎหมายควบคุมวัตถุระเบิด

กฎหมายว่าด้วยมาตรการตั้งด่านปรับชั่วคราว

หลักเกณฑ์การสอบสวนผู้กระทำผิด

กฎหมายว่าด้วยการรับฟังการสื่อสารเพื่อการสอบสวนเกี่ยวกับการทำผิด

กฎหมายว่าด้วยการชำระเงินแก่โจทก์หรือผู้เสียหายต่าง ๆ

กฎหมายว่าด้วยการวางมาตรการให้ความคุ้มครองแก่โจทก์หรือผู้เสียหายต่าง ๆ ในการดำเนินการทางกฎหมายอาญา

กฎหมายควบคุมการประกอบธุรกิจสถานเริงรมย์ต่าง ๆ ที่มีผลกระทบต่อจริยธรรมที่ดิงามทางสังคม

กฎหมายว่าด้วยการผลิตอาวุธ

กฎหมายเกี่ยวกับการรักษาความเป็นระเบียบเรียบร้อยในศาล

กฎหมายว่าด้วยการลงโทษการกระทำรุนแรงต่าง ๆ

กฎหมายคุ้มครองทางตุลาการ

[ま行]

麻薬及び向精神薬取締法
麻薬及び向精神薬取締法等特例
法（国際的な協力の下に規制薬
物に係る不正行為を助長する行
為等の防止を図るための麻薬及
び向精神薬取締法等の特例等に
関する法律）

未成年者飲酒禁止法

未成年者喫煙禁止法

民事訴訟法

民法

[や行]

有線電気通信法

郵便法

[ら行]

領海及び接続水域に関する法律

領事関係に関するウィーン条約
(ウィーン条約)

旅券法

労働基準法

[ま行]

กฎหมายควบคุมยาเสพติดและยากระตุ้นประสาท

กฎหมายพิเศษว่าด้วยการควบคุมยาเสพติดและยากระตุ้นประสาท
(กฎหมายควบคุมยาเสพติดและยากระตุ้นประสาทพิเศษในการ
ให้ความร่วมมือระหว่างประเทศเกี่ยวกับการป้องกันการให้ความ
ช่วยเหลือในการกระทำผิดเกี่ยวกับยาที่อยู่ภายใต้การควบคุม)

กฎหมายห้ามมิให้ผู้ไม่บรรลุนิติภาวะเพศของมีนเมา

กฎหมายห้ามมิให้ผู้ไม่บรรลุนิติภาวะสูบบุหรี่

กฎหมายวิธีพิจารณาคดีแพ่ง

กฎหมายแพ่ง

[や行]

กฎหมายว่าด้วยการสื่อสารโทรคมนาคมโดยใช้สาย

กฎหมายการไปรษณีย์

[ら行]

กฎหมายว่าด้วยอาณาเขตทะเลและบริเวณน่านน้ำที่ติดต่อกัน

กฎหมายสนธิสัญญากรุงเวียนนาว่าด้วยความสัมพันธ์ทางกงสุล
(สนธิสัญญากรุงเวียนนา)

กฎหมายหนังสือเดินทาง

กฎหมายมาตรฐานแรงงาน

第 5 罪名

[あ行]

遺棄罪

遺棄致死傷罪

遺失物等横領罪

威力業務妨害罪

往来危険罪

横領罪

[か行]

覚せい剤取締法違反

過失傷害罪

過失致死罪

過失運転致死傷罪

危険運転致死傷罪

偽証罪

偽造外国通貨行使罪

偽造通貨行使罪

偽造無印公文書行使罪

偽造無印私文書行使罪

偽造有印公文書行使罪

偽造有印私文書行使罪

偽造有価証券行使罪

器物損壊罪

恐喝罪

強制わいせつ罪

強制わいせつ致死傷罪

脅迫罪

業務上横領罪

業務上過失往来危険罪

[あ行]

ความผิดฐานละทิ้ง

ความผิดฐานละทิ้งเป็นเหตุให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตาย

ความผิดฐานยกยอกสิ่งของที่ทำสูญหายและอื่น ๆ

ความผิดฐานขู่บังคับขัดขวางการทำงาน

ความผิดฐานทำให้เกิดอันตรายต่อการสัญจรของรถไฟหรือรถไฟฟ้า

ความผิดฐานยกยอกทรัพย์สิน

[か行]

ความผิดฐานฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมการใช้ยากระตุ้นประสาท

ความผิดฐานทำให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บโดยประมาท

ความผิดฐานทำให้ผู้อื่นถึงแก่ความตายโดยประมาท

ความผิดฐานทำให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตายจากการขับขี่โดยประมาท

ความผิดฐานทำให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตายจากการขับขี่ที่อันตราย

ความผิดฐานเบิกความเท็จ

ความผิดฐานใช้เงินตราต่างประเทศปลอม

ความผิดฐานใช้เงินตราปลอม

ความผิดฐานใช้เอกสารราชการปลอมที่ไม่มีตราประทับ

ความผิดฐานใช้เอกสารเอกชนปลอมที่ไม่มีตราประทับ

ความผิดฐานใช้เอกสารราชการปลอมที่มีตราประทับ

ความผิดฐานใช้เอกสารเอกชนปลอมที่มีตราประทับ

ความผิดฐานใช้พันธบัตรที่มีมูลค่าปลอม

ความผิดฐานทำให้ทรัพย์สินเสียหาย

ความผิดฐานขู่กรรโชก

ความผิดฐานบังคับทำอนาจาร

ความผิดฐานบังคับทำอนาจารเป็นเหตุให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตาย

ความผิดฐานข่มขู่

ความผิดฐานยกยอกโดยอาศัยอำนาจหน้าที่

ความผิดฐานปฏิบัติหน้าที่โดยประมาทเป็นเหตุให้เกิดอันตราย

業務上過失傷害罪	ต่อการจราจร ความผิดฐานปฏิบัติหน้าที่โดยประมาทเป็นเหตุให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บ
業務上過失致死罪	ความผิดฐานปฏิบัติหน้าที่โดยประมาทเป็นเหตุให้ผู้อื่นถึงแก่ความตาย
強要罪	ความผิดฐานบังคับขืนใจให้ผู้อื่นกระทำการนั้น
現住建造物等放火罪	ความผิดฐานวางเพลิงสิ่งปลูกสร้างต่าง ๆ ที่มีผู้พักอาศัย
建造物等以外放火罪	ความผิดฐานวางเพลิงทรัพย์สินต่าง ๆ ที่ไม่ใช่สิ่งปลูกสร้าง
建造物等延焼罪	ความผิดฐานทำให้เกิดเพลิงลุกลามไหม้สิ่งปลูกสร้าง
公印偽造罪	ความผิดฐานปลอมแปลงตราราชการ
公印不正使用罪	ความผิดฐานใช้ตราราชการในทางมิชอบ
強姦罪	ความผิดฐานข่มขืน, กระทำชำเรา
強姦致死傷罪	ความผิดฐานข่มขืนกระทำชำเราเป็นเหตุให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตาย
公正証書原本不実記載罪	ความผิดฐานบันทึกข้อความเท็จลงในต้นฉบับหนังสือราชการ
公然わいせつ罪	ความผิดฐานกระทำอนาจารในที่สาธารณะ
強盜強姦罪	ความผิดฐานปล้นทรัพย์และข่มขืน
強盜強姦致死傷罪	ความผิดฐานปล้นทรัพย์และข่มขืนเป็นเหตุให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตาย
強盜罪	ความผิดฐานปล้นทรัพย์
強盜致死罪	ความผิดฐานปล้นทรัพย์เป็นเหตุให้ผู้อื่นถึงแก่ความตาย
強盜致傷罪	ความผิดฐานปล้นทรัพย์เป็นเหตุให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บ
強盜予備罪	ความผิดฐานเตรียมการปล้นทรัพย์
公用文書毀棄罪	ความผิดฐานทำลายเอกสารราชการ
公務執行妨害罪	ความผิดฐานขัดขวางการปฏิบัติงานของเจ้าหน้าที่
昏睡強盜罪	ความผิดฐานปล้นทรัพย์โดยมอมให้หมดสติ
[さ行]	[さ行]
詐欺罪	ความผิดฐานฉ้อโกง
殺人罪	ความผิดฐานฆ่าคนตาย
殺人予備罪	ความผิดฐานเตรียมการฆ่าคนตาย
私印偽造罪	ความผิดฐานปลอมตราเอกชน
私印不正使用罪	ความผิดฐานใช้ตราเอกชนในทางมิชอบ
死体遺棄罪	ความผิดฐานละทิ้งศพ
重過失傷害罪	ความผิดฐานขับขี่ยานยนต์ด้วยความประมาทเป็นเหตุให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บ

重過失致死罪	ความผิดฐานขับรถด้วยความประมาทเป็นเหตุให้ผู้อื่นถึงแก่ความตาย
住居侵入罪	ความผิดฐานบุกรุกเคหสถาน
銃砲刀劍類所持等取締法違反	การฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมการครอบครองอาวุธปืนและดาบ
傷害罪	ความผิดฐานทำร้ายร่างกาย
傷害致死罪	ความผิดฐานทำร้ายร่างกายเป็นเหตุให้ผู้อื่นถึงแก่ความตาย
常習賭博罪	ความผิดฐานเล่นการพนันเป็นนิสัย
常習累犯窃盜罪	ความผิดฐานลักทรัพย์เป็นนิสัยโดยเคยต้องโทษมาก่อน
証人威迫罪	ความผิดฐานข่มขู่พยาน
証拠隠滅罪	ความผิดฐานปกปิดชุกซ่อนทำลายหลักฐาน
窃盜罪	ความผิดฐานลักทรัพย์
贈賄罪	ความผิดฐานติดสินบน
[た行]	[た行]
逮捕監禁罪	ความผิดฐานจับกุมและกักขังโดยมิชอบ
逮捕監禁致死傷罪	ความผิดฐานจับกุมและกักขังโดยมิชอบเป็นเหตุให้ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตาย
單純逃走罪	ความผิดฐานหลบหนีจากที่คุมขัง
通貨偽造罪	ความผิดฐานปลอมแปลงเงินตรา
盜品等無償讓受け罪	ความผิดฐานรับของโจรโดยไม่มีค่าตอบแทน
盜品等有償讓受け罪	ความผิดฐานรับของโจรโดยมีค่าตอบแทน
道路交通法違反	การฝ่าฝืนกฎหมายจราจรบนท้องถนน
毒物及び劇物取締法違反	การฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมยาพิษและสารมีพิษ
賭博場開帳罪	ความผิดฐานเปิดบ่อนการพนันโดยไม่ได้รับอนุญาต
賭博罪	ความผิดฐานเล่นการพนัน
[は行]	[は行]
背任罪	ความผิดฐานปฏิบัติการณ์ฝ่าฝืนอำนาจหน้าที่โดยมีวัตถุประสงค์บางประการ
犯人藏匿罪	ความผิดฐานปิดบังหรือช่วยให้ที่หลบซ่อนแก่ผู้กระทำความผิด
非現住建造物等放火罪	ความผิดฐานวางเพลิงสิ่งปลูกสร้างซึ่งไม่ใช่ที่อยู่อาศัย
壳春防止法違反	ความผิดฐานฝ่าฝืนกฎหมายป้องกันการค้าประเวณี
放火罪	ความผิดฐานวางเพลิง
暴行罪	ความผิดฐานทำร้ายร่างกาย
暴力行為等処罰ニ關スル法律違反	ความผิดฐานฝ่าฝืนกฎหมายเกี่ยวกับการลงโทษการกระทำรุนแรง

保護責任者遺棄罪
保護責任者遺棄致死傷罪

ความผิดฐานทอดทิ้งผู้ที่อยู่ในความดูแลรับผิดชอบ
ความผิดฐานทอดทิ้งผู้ที่อยู่ในความดูแลรับผิดชอบเป็นเหตุให้
ผู้อื่นได้รับบาดเจ็บหรือถึงแก่ความตาย

[ま行]
麻薬及び向精神薬取締法違反

[ま行]
ความผิดฐานฝ่าฝืนกฎหมายควบคุมยาเสพติดและยากระตุ้น
ประสาท

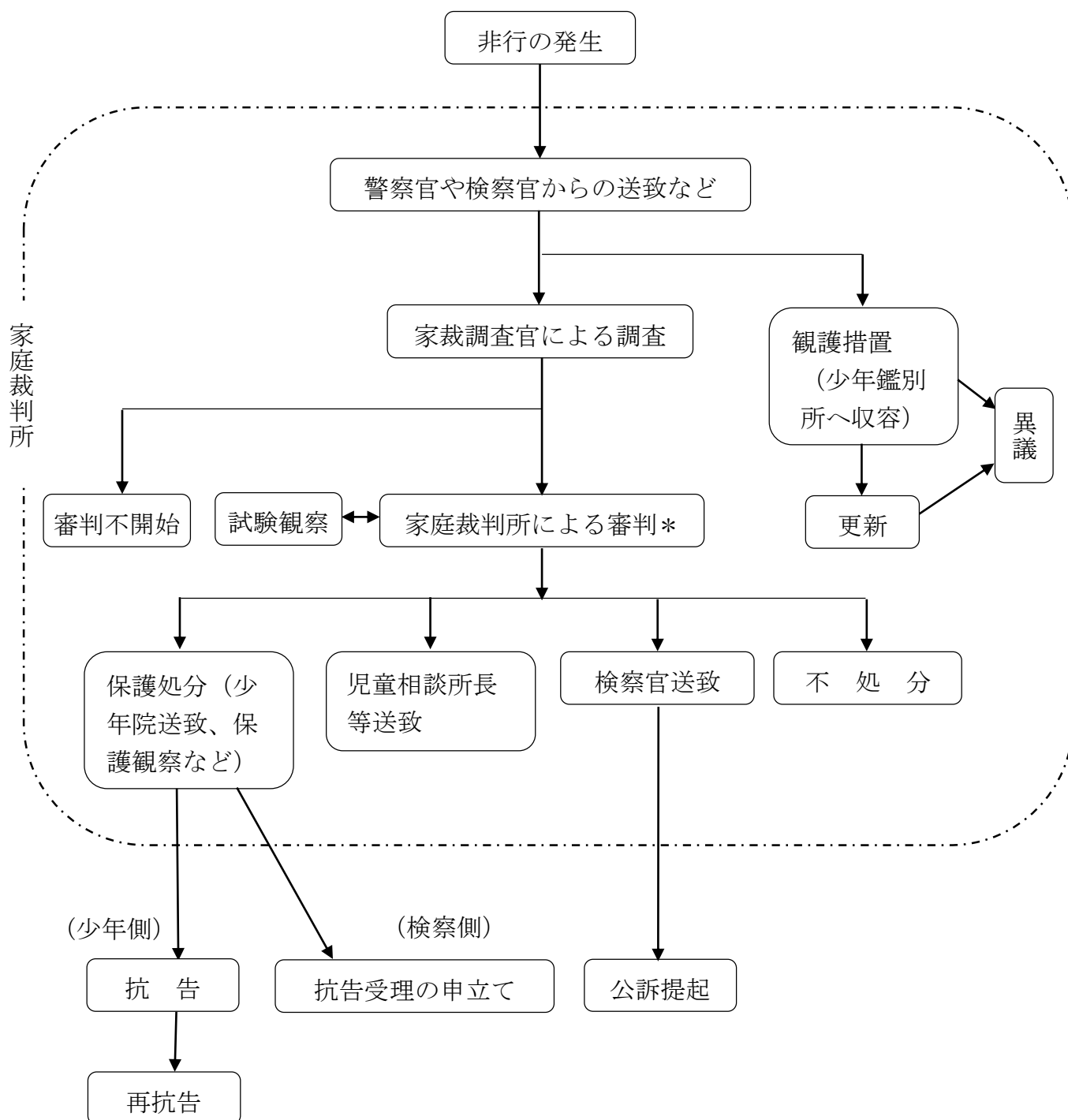
身の代金目的拐取罪
身の代金目的拐取幫助罪
身の代金目的拐取予備罪
身の代金目的被拐取者收受罪
無印公文書偽造罪
無印私文書偽造罪
名誉毀損罪

ความผิดฐานลักพาตัวเพื่อเรียกค่าไถ่
ความผิดฐานให้ความช่วยเหลือต่อการลักพาตัวเพื่อเรียกค่าไถ่
ความผิดฐานเตรียมการลักพาตัวเพื่อเรียกค่าไถ่
ความผิดฐานรับเอาตัวผู้ที่ถูกลักพาตัวมาเพื่อเรียกค่าไถ่
ความผิดฐานปลอมแปลงเอกสารราชการที่ไม่มีตราประทับ
ความผิดฐานปลอมแปลงเอกสารเอกชนที่ไม่มีตราประทับ
ความผิดฐานหมิ่นประมาท

[や行]
有印公文書偽造罪
有印私文書偽造罪
有価証券偽造罪

[や行]
ความผิดฐานปลอมแปลงเอกสารราชการที่มีตราประทับ
ความผิดฐานปลอมแปลงเอกสารเอกชนที่มีตราประทับ
ความผิดฐานปลอมแปลงพันธบัตรที่มีมูลค่า

少年保護事件の手続の流れ



* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。